

潮江小学校区
津波避難計画書

平成 26 年 3 月作成

令和 8 年 3 月改訂

潮江小校区防災連合会

目 次

page

第1章	はじめに	1
第2章	地区別津波避難計画の目的	2
第3章	想定される地震・津波と被害想定	3
第1節	高知市全体の予測	3
第2節	潮江小学校区の予測	8
第4章	潮江小学校区の概要	13
第1節	地形・地質的な特徴	13
第2節	社会環境	16
第5章	潮江小学校区の津波避難の考え方	21
第1節	避難行動の考え方	21
第2節	緊急避難場所	25
第3節	避難困難地域の検討	28
第4節	津波避難経路	31
第6章	津波避難計画の検証	32
第1節	津波避難計画の検証	32
第2節	避難場所の収容能力に対する避難者数の推計	36
第3節	避難に要する時間	41
第4節	避難行動要支援者の訓練結果	42
第5節	津波避難経路の現地点検	43
第7章	潮江小学校区の津波避難における課題と取組	46
第1節	避難行動の課題	46
第2節	課題の解決に向けた取組	48
第8章	検討経緯	51
第9章	南海トラフ地震臨時情報発表時における事前避難	52

巻末資料

- ① 潮江地区緊急避難場所一覧
- ② 津波避難経路 現地点検のポイント
- ③ 平成29年度津波避難計画検証関連資料
- ④ 臨時情報について
- ⑤ 潮江小学校区津波避難行動支援マップ（平成27年度作成）

第1章 はじめに

高知県真下付近で発生すると予測されている南海トラフ地震は、今後30年以内に60～90%程度以上^{※1}（地震調査研究推進本部：令和7年1月時点）の高い確率で発生すると言われています。また、内閣府が平成24年8月に発表した「南海トラフの巨大地震^{※2}の被害想定について」ではマグニチュード9.1と、東日本大震災のマグニチュード9.0を上回る規模の地震の発生を予測しています。

高知市においても、過去の南海地震で繰り返し被害を受けてきたことを踏まえ、「南海トラフの巨大地震」が発生した場合でも、被害を最小限に軽減するために市民と事業者、市などが一体となって対策を進める必要があります。

潮江小校区連絡協議会防災連合部会（現在の潮江小校区防災連合会）は、平成26年3月に「潮江小学校区津波避難計画書」を策定しました。計画書では、津波被害から命を守るために、住民一人一人が「津波から避難する」意識を高め、お互いに助け合い、津波が到達するまでに安全な避難場所へ迅速に避難するための行動計画を定めています。

計画策定後は、避難訓練や避難場所整備等が実施されています。平成29年度には、これらの取組を踏まえて津波避難計画を検証し、計画書を改訂しました。

※1 令和7年9月26日付け南海トラフの地震活動の長期評価（第二版一部改訂：地震調査研究推進本部）にて公表された計算モデルが異なる2つの発生確率のうちの高い方の確率値になります。

※2 「南海トラフの巨大地震」とは、東海・東南海・南海地震が連動して同時に発生した場合の地震のことで、発生頻度は極めて低いが、科学的知見により発生する可能性のある最大クラスの地震です。



図1 津波避難計画改訂の経緯

第2章 地区別津波避難計画の目的

潮江小学校区は、南海トラフ地震と津波により大きな被害が想定される地区です。大きな災害に襲われるおそれのある地域で暮らす私たちにとって、災害に備えることは、安心して暮らす上で必要不可欠なことです。その手段は、地域の現状と想定される災害について「正しく知り」、「正しく恐れ」、「正しく行動する」ことです。

地震の発生から、津波が収束するまでの間、どのような状況に陥っても、あきらめず自らの命を守る適切な避難行動が取れるよう、自主防災組織等が、自らの行動計画として作成します。

行動計画策定や改訂に至る経緯、また避難訓練等で明らかとなった課題は、この計画書に明記し、地域住民が主体となって、行政や学校、事業所等と連携して解決に向けた取組を継続します。

潮江小学校区津波避難計画の策定は、これから地区の津波対策を実施する上でのスタートラインになるものです。この計画に基づいて避難訓練等を実施し、さらなる課題の抽出、対策の検討をおこなって、より良い計画にしていくことが大切です。

なお、この計画書では地震発生から津波警報が解除されるまでの避難について主に記載しています。避難生活をする指定避難所に関する情報やルールなどについては、別に検討していく必要があります。

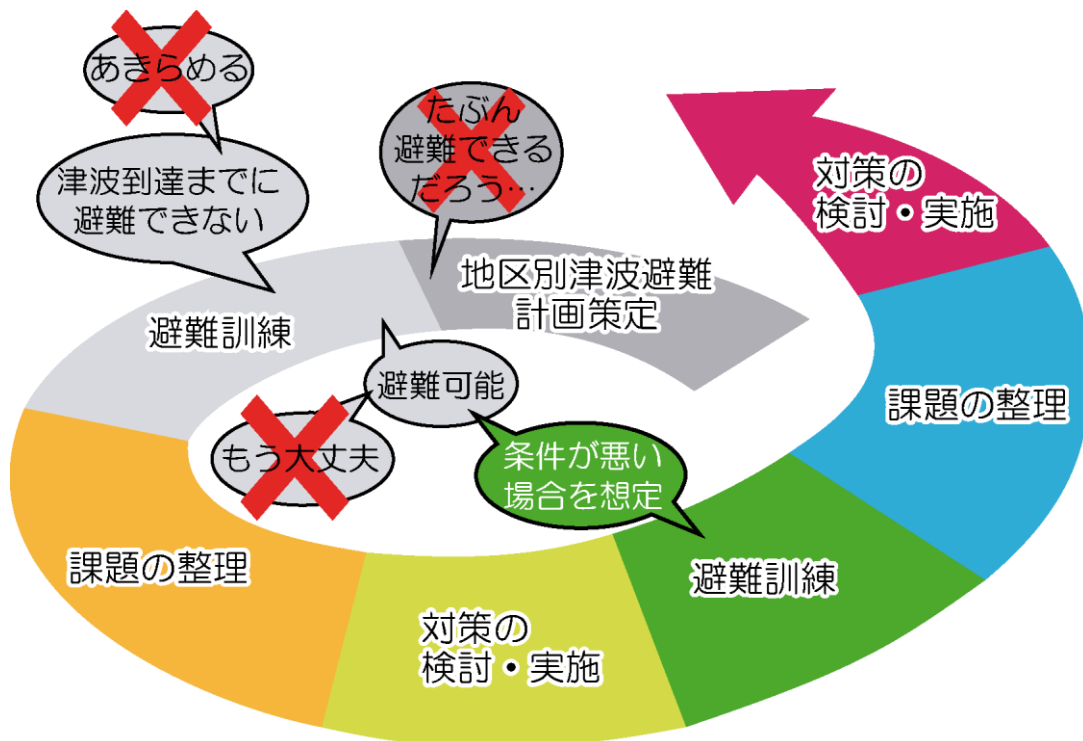


図2 津波避難計画策定からスタートする地域の津波対策のイメージ
出典：地域津波避難計画点検マニュアル（平成25年12月 高知県）

第3章 想定される地震・津波と被害想定

第1節 高知市全体の予測

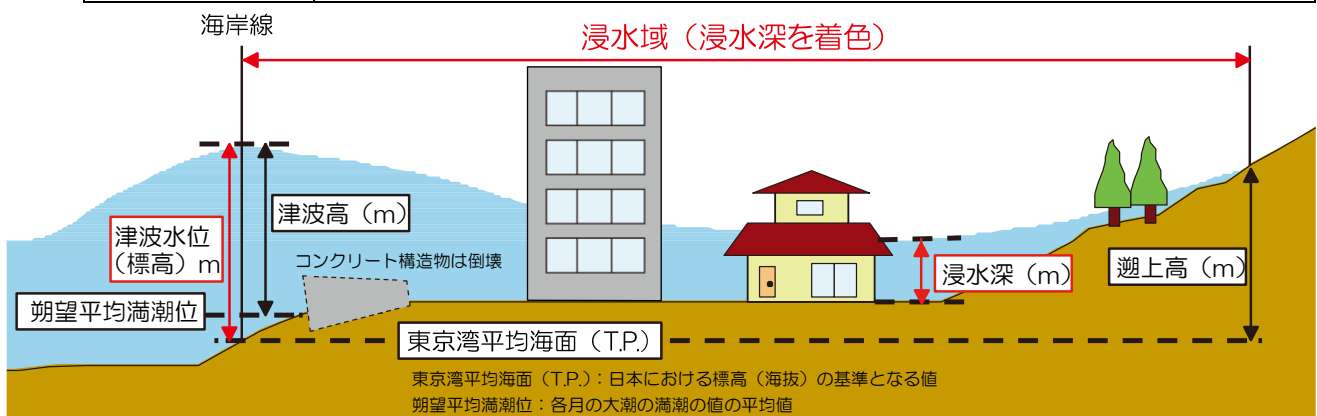
ポイント

- ・ 高知市の予測震度は最大震度7
- ・ 津波浸水深は最大 10～15m、津波到達時間は沿岸部で最短 10～20 分

高知県が平成 24 年 12 月に発表した「高知県版第2弾 南海トラフ巨大地震による震度分布・津波浸水予測」の結果概要は以下のとおりです。

表 1 南海トラフ巨大地震による震度分布・津波浸水予測の概要

想定地震	南海トラフの巨大地震（内閣府中央防災会議モデル：平成 24 年 8 月）
地震規模	マグニチュード 9.1（津波断層モデル）
予測震度	震度 6 弱～7（高知市）
津波予測における潮位	朔望平均満潮位：T.P.+0.93m
津波予測における構造物の取り扱い	<p>【堤防】 土で築造された堤防は、地震前の高さの 25% に沈下し、津波が越流し始めた時点で「堤防なし」とする。 コンクリート構造物は、地震により倒壊して、はじめから「堤防なし」とする。</p> <p>【防波堤】 地震により倒壊するとし、はじめから「防波堤なし」とする。</p> <p>【水門など】 耐震化され、自動降下対策済み、または常時閉鎖の施設は水門が閉まっているものとする。これ以外の水門などは開いているものとする。</p>



※津波浸水深とは、津波により水に浸かってしまう地面からの高さを示す。
 ※朔望平均満潮位とは、朔（新月）及び望（満月）の日から 5 日以内に現れる各月の最高満潮面の平均値を示す。
 ※T.P.とは、東京湾中等潮位。地表面の標高、すなわち、海面からの高さを表す場合の基準となる水準面を示す。

図 3 津波高・浸水深のイメージ

津波からの避難行動を考える場合、津波浸水予測図や、津波浸水予測時間図が参考となります。また、襲来する津波の方向や挙動を表したアニメーションは、避難の方向や避難時間を把握する上で大変参考になるものです。

潮江地区では、浦戸湾口に近い南側からの浸水と、鏡川の河口付近を遡上した津波による地区東側からの浸水が想定されています。これらの予測結果を念頭に置いて緊急避難場所や津波避難経路を選定することが重要です。

【高知県版第2弾】南海トラフの巨大地震による津波のアニメーション

高知県 HP : <https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/O10201/tsunami-anime.html>

(資料1 高知市全体の地震・津波予測)

[高知市の震度分布図]

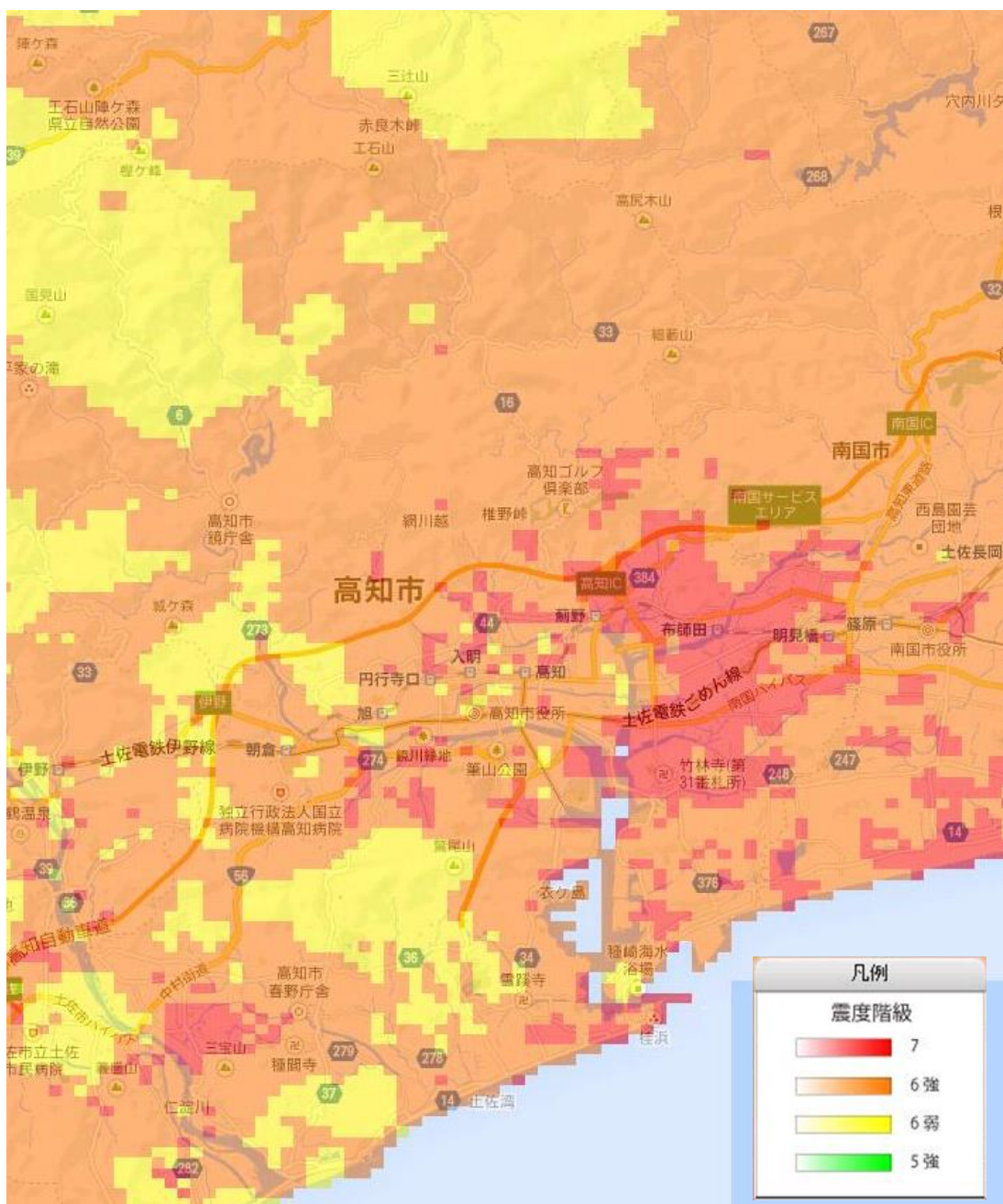


図4 高知市の震度分布図 (出典: 高知県 HP より)

[高知市の津波浸水予測図]

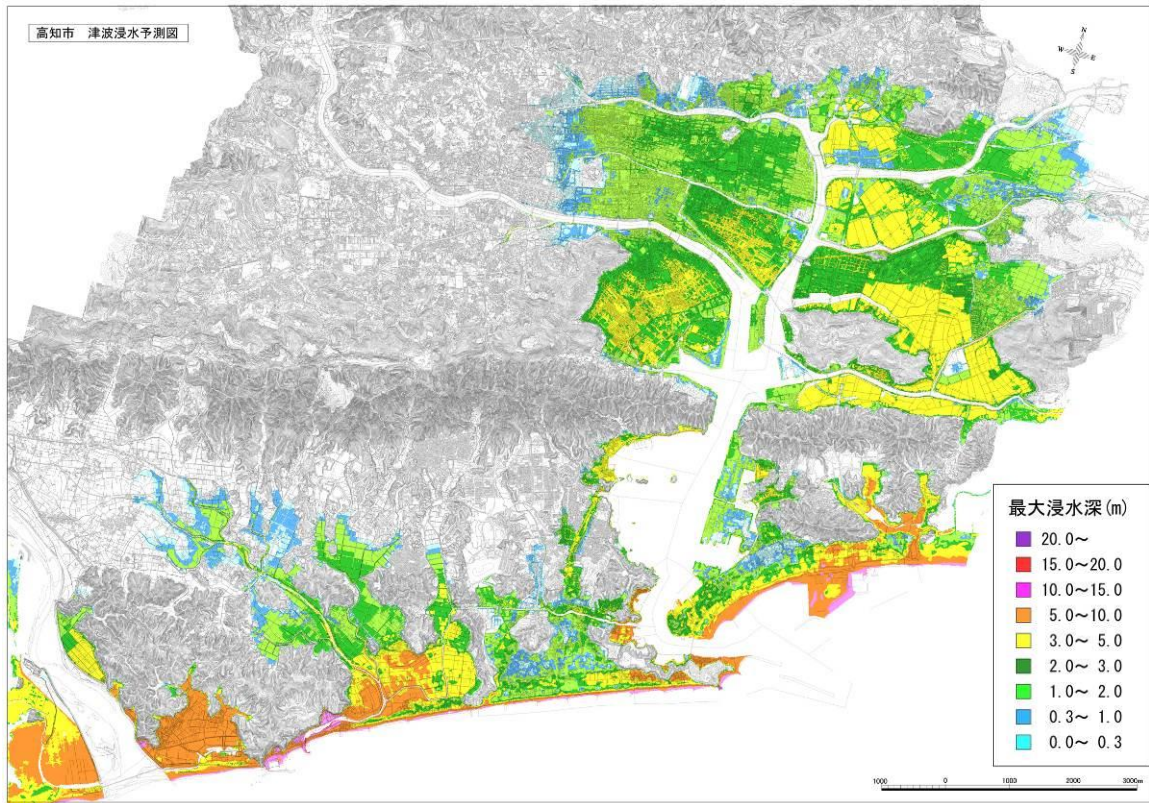


図5 高知市の津波浸水予測図

[高知市の津波浸水予測時間図]

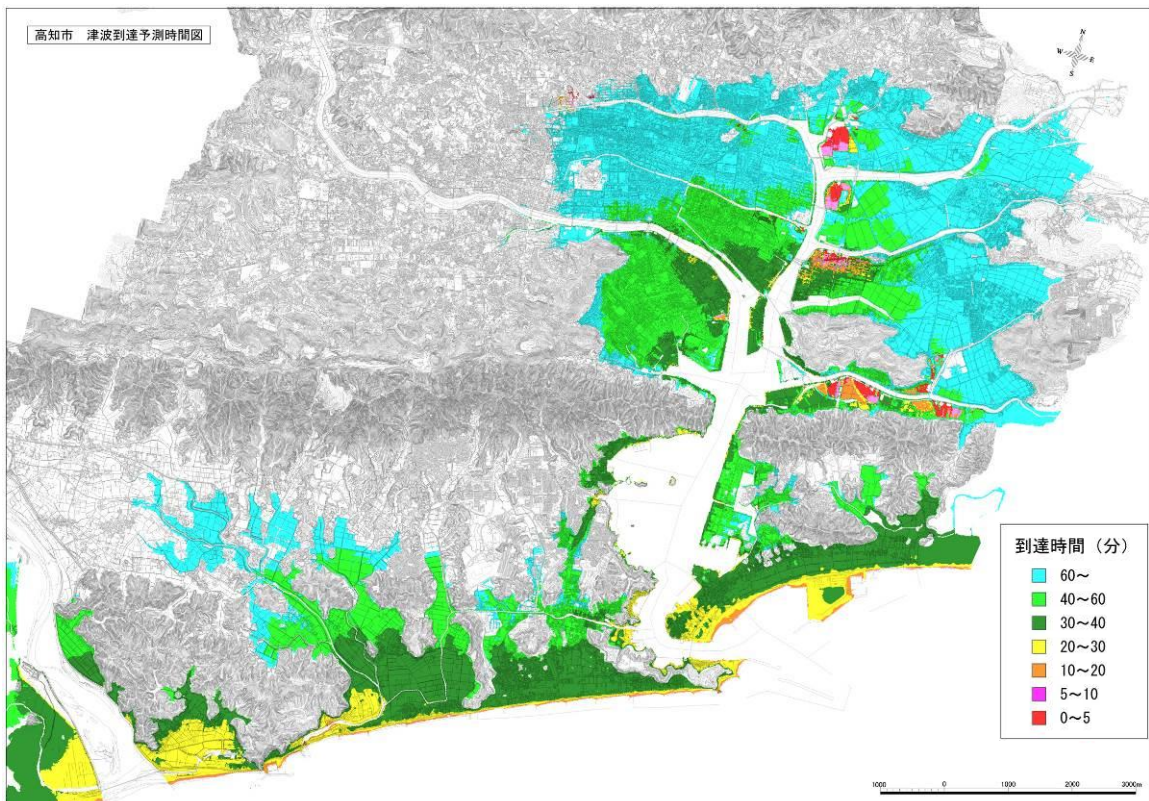


図6 高知市の津波浸水予測時間図

●長期浸水とは

地震が発生すると地盤の変動により、標高の低い土地が海面より低くなり長期に渡って浸水するおそれがあります。これが「長期浸水」です。

最大クラスの地震による長期浸水予測 (L2)

想定最大地盤沈降量：-1.7m (ケース③ 紀伊半島沖～四国沖に大すべり域を設定)

想定対象潮位：T.P.+0.9m

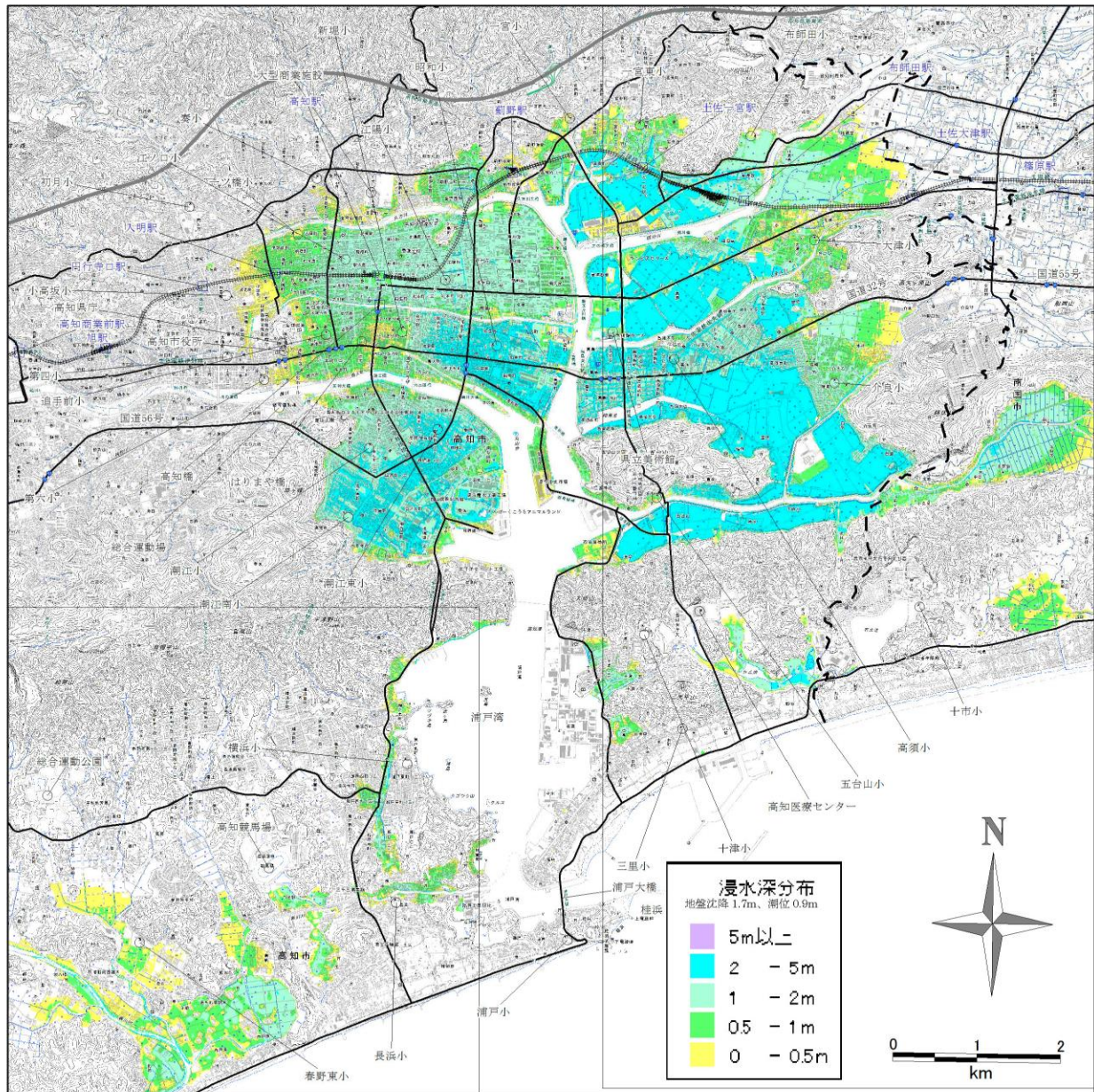


図7 高知市長期浸水予測図 (出典：南海トラフ地震長期浸水予測図)

(資料 2 高知市全体の地震・津波による被害想定)

① 建物被害：棟数 約 104,000 棟

(出典：「南海トラフ巨大地震による被害想定」(資料 2：市町村ごとの被害 2 ページ)
平成 25 年 5 月)

表 2 高知市における地震及び津波による建物被害の想定

被害の要因	全壊棟数 (棟)		半壊棟数 (棟)
	現状	対策後	現状
液状化	340	-	1,400
揺れ	32,000	5,000	29,000
急傾斜地崩壊	260	-	230
津波	16,000	-	22,000
地震火災	2,800	-	-
合計	52,000	5,000	52,000

※四捨五入の関係で合計が合わない場合があります。

② 人的被害(平成 17 年度国勢調査)：高知市総人口 350,426 人

(出典：「南海トラフ巨大地震による被害想定」(資料 2：市町村ごとの被害 2 ページ)
平成 25 年 5 月)

表 3 高知市における地震及び津波による人的被害の想定

被害の要因	現状			対策後		
	死者数 (人)	負傷者数 (人)	重傷者	死者数 (人)	負傷者数 (人)	重傷者
建物の崩壊	2,100	11,000	6,300	270	3,000	1,700
急傾斜地の崩壊	40	40	20	-	-	-
津波	10,000	840	290	590	0	0
火災	280	200	60	-	-	-
ブロック塀等の倒壊	若干数	若干数	若干数	-	-	-
合計	12,420	12,080	6,700	860	3,000	1,700

※四捨五入の関係で合計が合わない場合があります。

第2節 潮江小学校区の予測

ポイント

- 潮江小学校区の想定震度は最大震度 7
- 津波想定浸水深は最大 3～5mで建物の 2 階を越える
- 津波到達予測時間は校区南側、北側の早いところで 30 分、その他の地区で 40 分～60 分
- 地震の揺れによる液状化の発生の可能性が高い

高知県が平成 24 年 12 月に公表した南海トラフ巨大地震による震度分布・津波浸水予測とそれに基づく被害想定によれば、潮江小学校区では、以下のような想定がなされています。

- 潮江小学校区の想定震度は最大震度 7であり、揺れによる建物などの倒壊、屋内落下物による人的被害、火災の発生が想定される。
- 津波想定浸水深は最大で 3～5mであり、建物の 2 階を越える。
- 津波浸水予測時間は、校区南側、北側の早いところで 30 分、その他の地区で 40～60 分と想定されている。
- 液状化の発生の可能性が高く、避難行動において道路の凹凸、杭基礎構造物との不等沈下、マンホールの突出などを想定する必要がある。



図 8 揺れによって想定される被災状況

(出典：地域津波避難計画点検マニュアル平成 25 年 12 月 高知県)

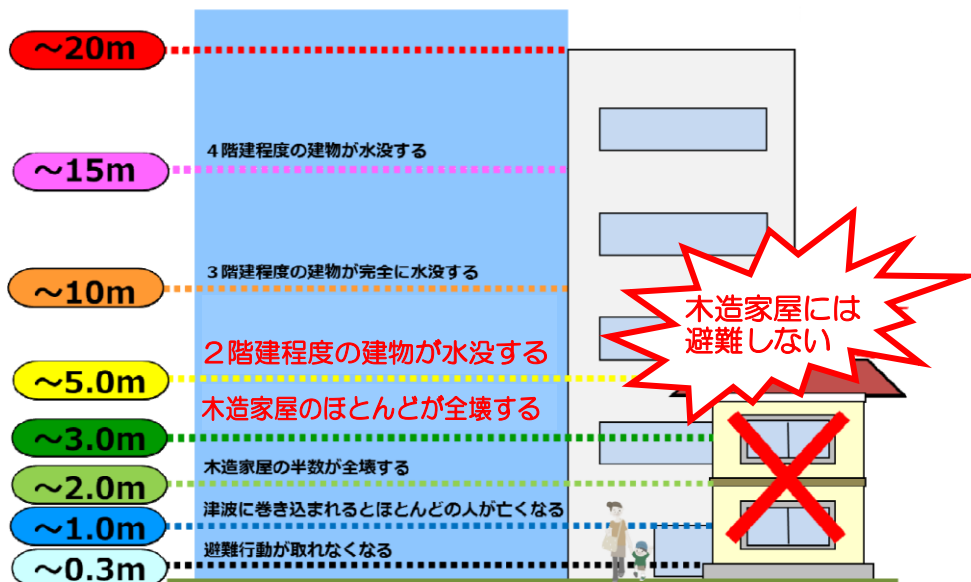


図9 津波浸水深の目安

(出典：高知県版第2弾 南海トラフ巨大地震による震度分布・津波浸水予測 平成24年12月10日 高知県)

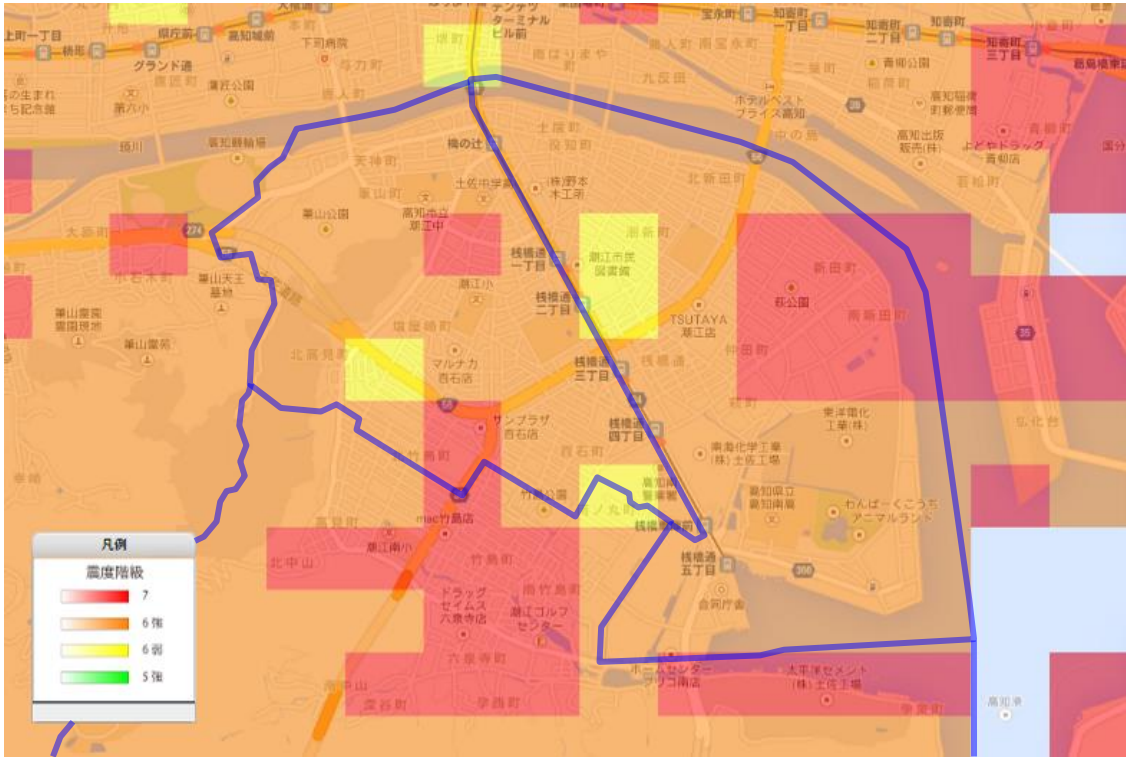


図 10 震度分布図 (最大クラスの重ね合わせ) (出典：高知県 HP より)

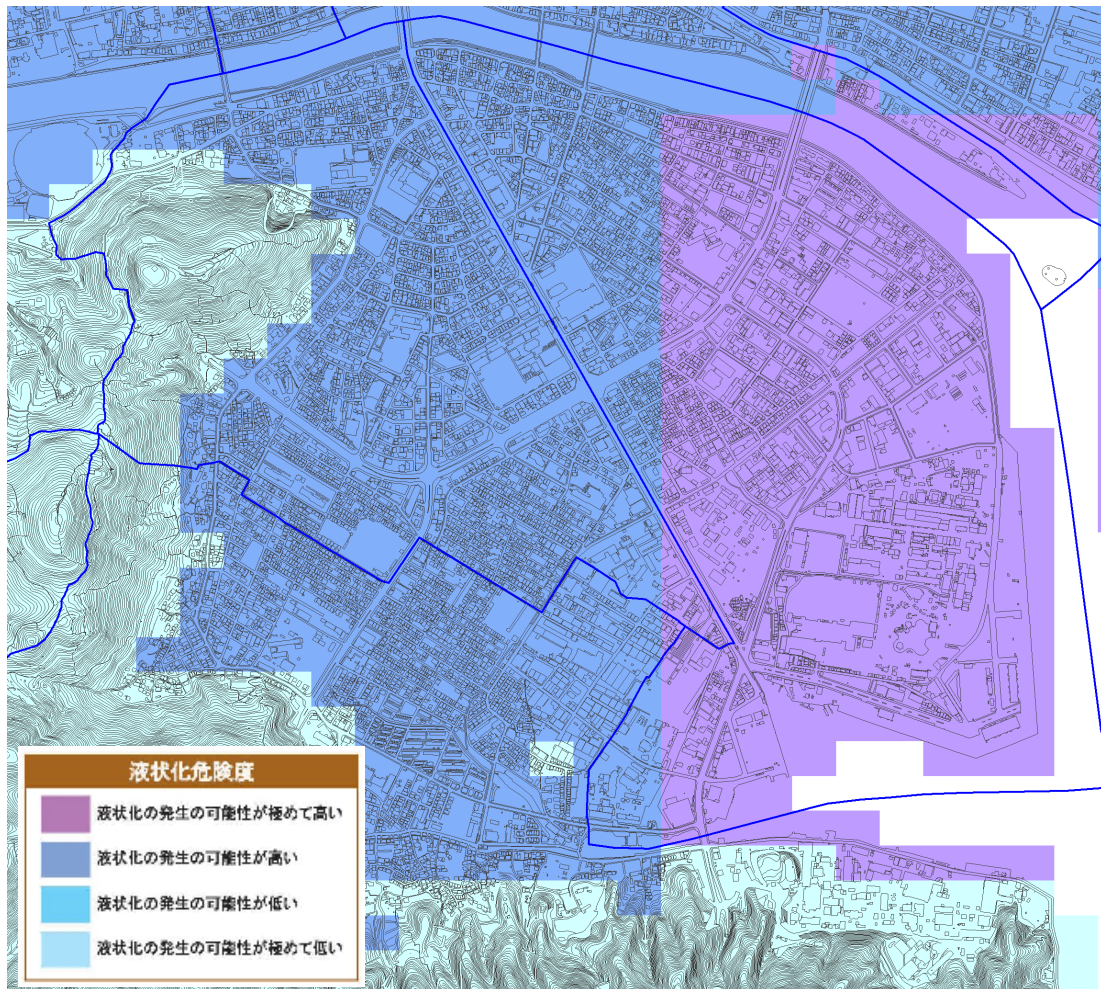


図 11 液状化危険度図 (高知市地震ハザードマップ平成 23 年 5 月)

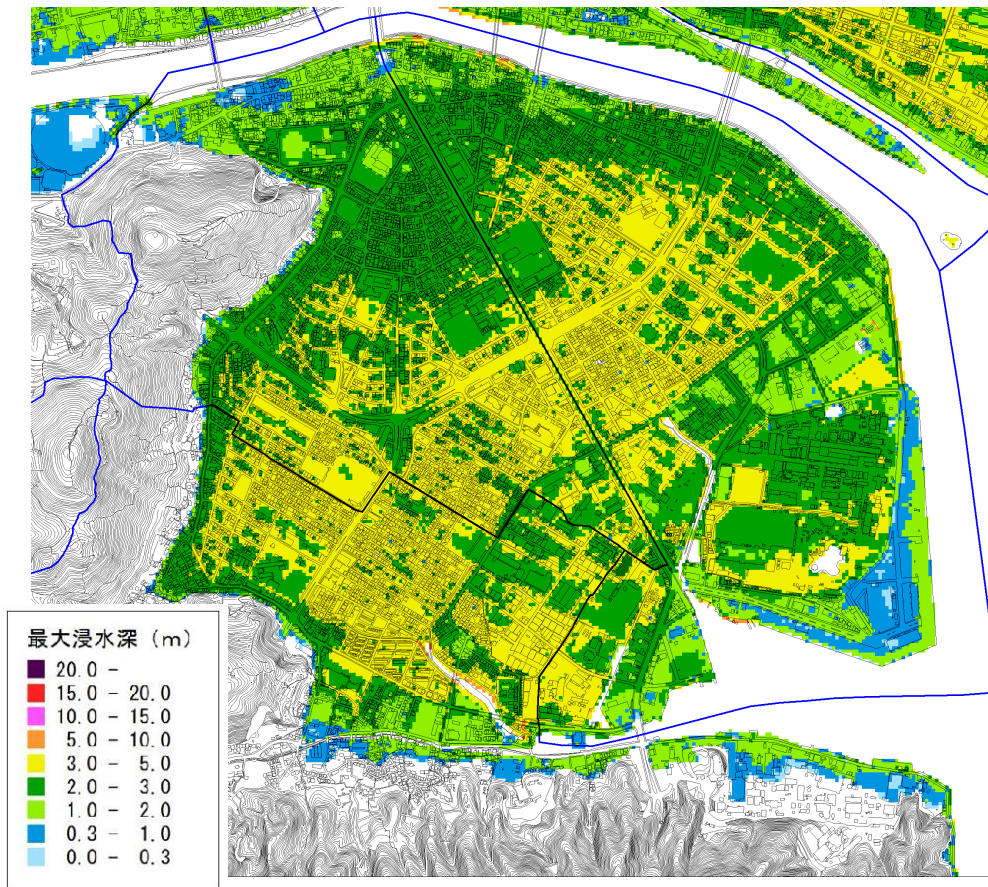


図 12 津波浸水予測図

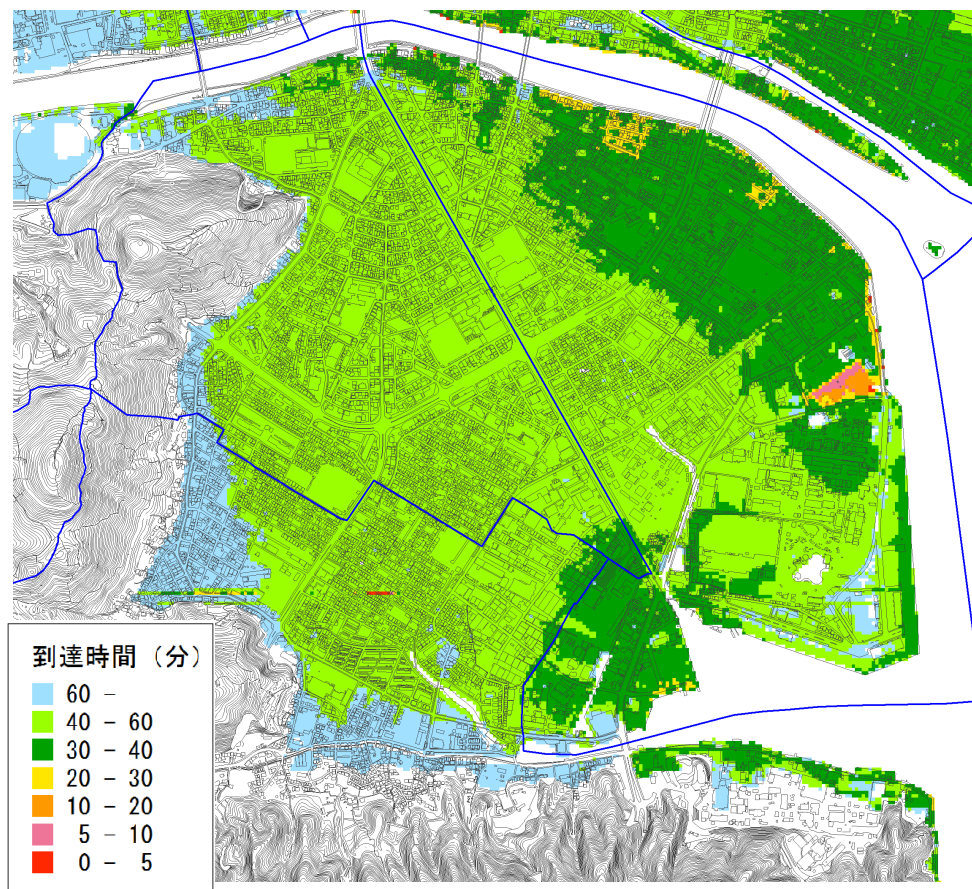


図 13 津波浸水予測時間図

最大クラスの地震による長期浸水予測 (L2)

想定最大地盤沈降量：-1.7m (ケース③ 紀伊半島沖～四国沖に大すべり域を設定)

想定対象潮位：T.P.+0.9m

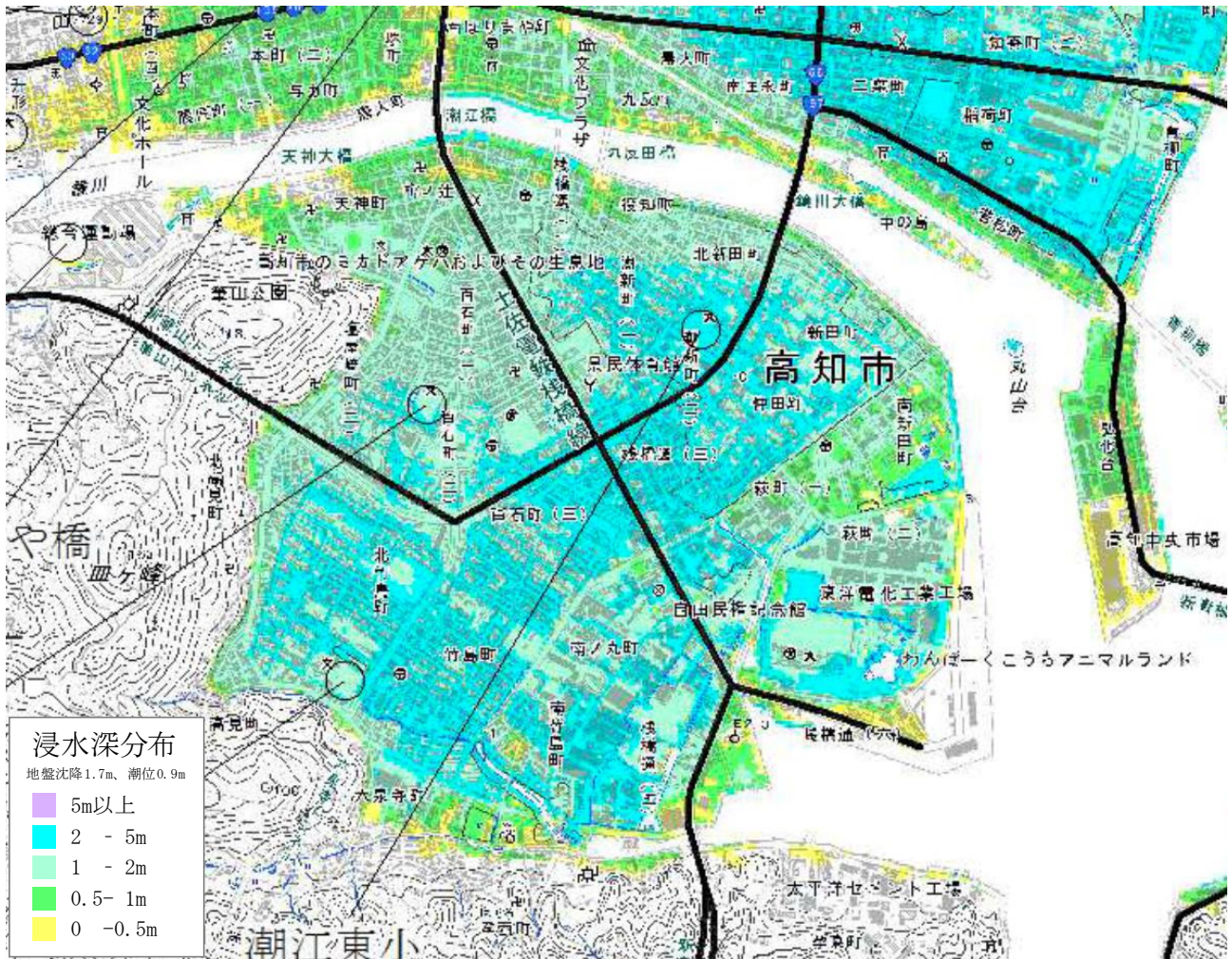


図 14 潮江地区長期浸水予測図

第4章 潮江小学校区の概要

第1節 地形・地質的な特徴

潮江地区は、図15に示すように、河川や海岸の堆積作用によって形成された低地に盛土し、市街地が形成されています。

潮江小学校区の避難行動に影響を与える地形・地質的な特徴は以下のとおりです。

地形・地質的な特徴	避難の際の留意点
海拔0～2m程度の低地が地区の大部分を占める	地盤変動（沈下）による浸水の長期化
平坦地は、河川・海岸の堆積作用によって形成された地盤である	液状化のおそれ
西側、南側に自然地形の高台を有する	自然地形の高台まで逃げ切れない地区がある
西側斜面（筆山、皿ヶ峰）は、急傾斜地であり、自然地形の高台への上がり口が限定される 斜面は落石等のおそれがある	複数の上がり口や緊急避難場所となる広場を事前に確認する ヘルメットを携行する
南側斜面（宇津野山）は、過去に土砂災害（土石流）が多く発生している	扇状地地形により津波避難路の勾配が緩く、自然地形の高台へのアクセスは容易であるが、急斜面に近づくと土砂災害のおそれがある

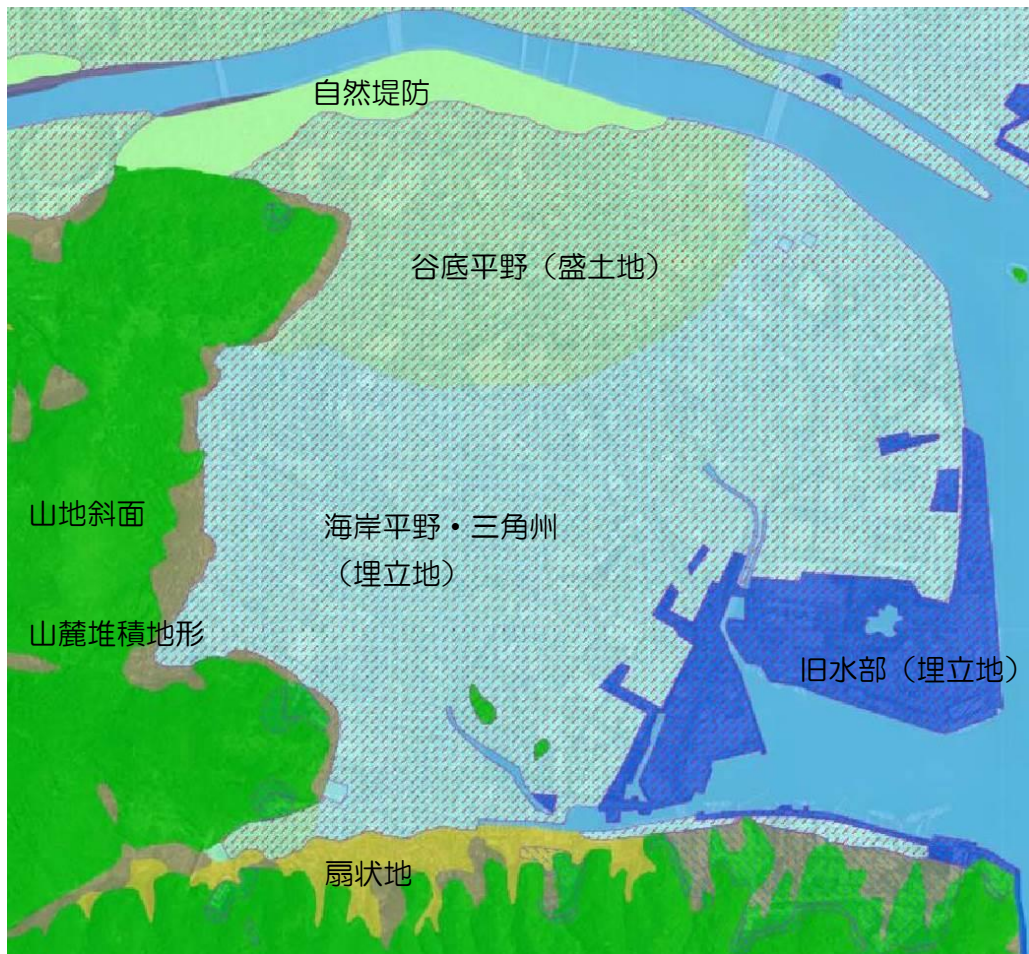


図15 潮江地区の地形の成り立ち
（国土地理院 数値地図25000（土地条件）を基に作成）

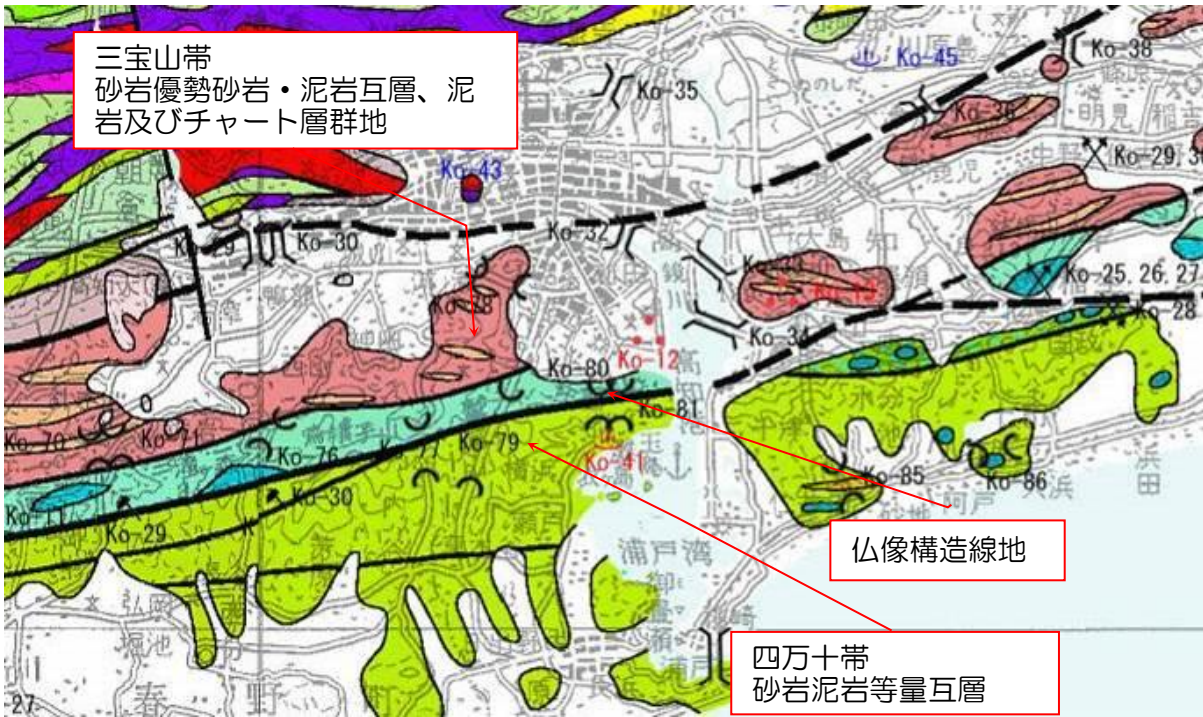


図 16 地質概要図（四国地方土木地質図（財）国土技術研究センター）

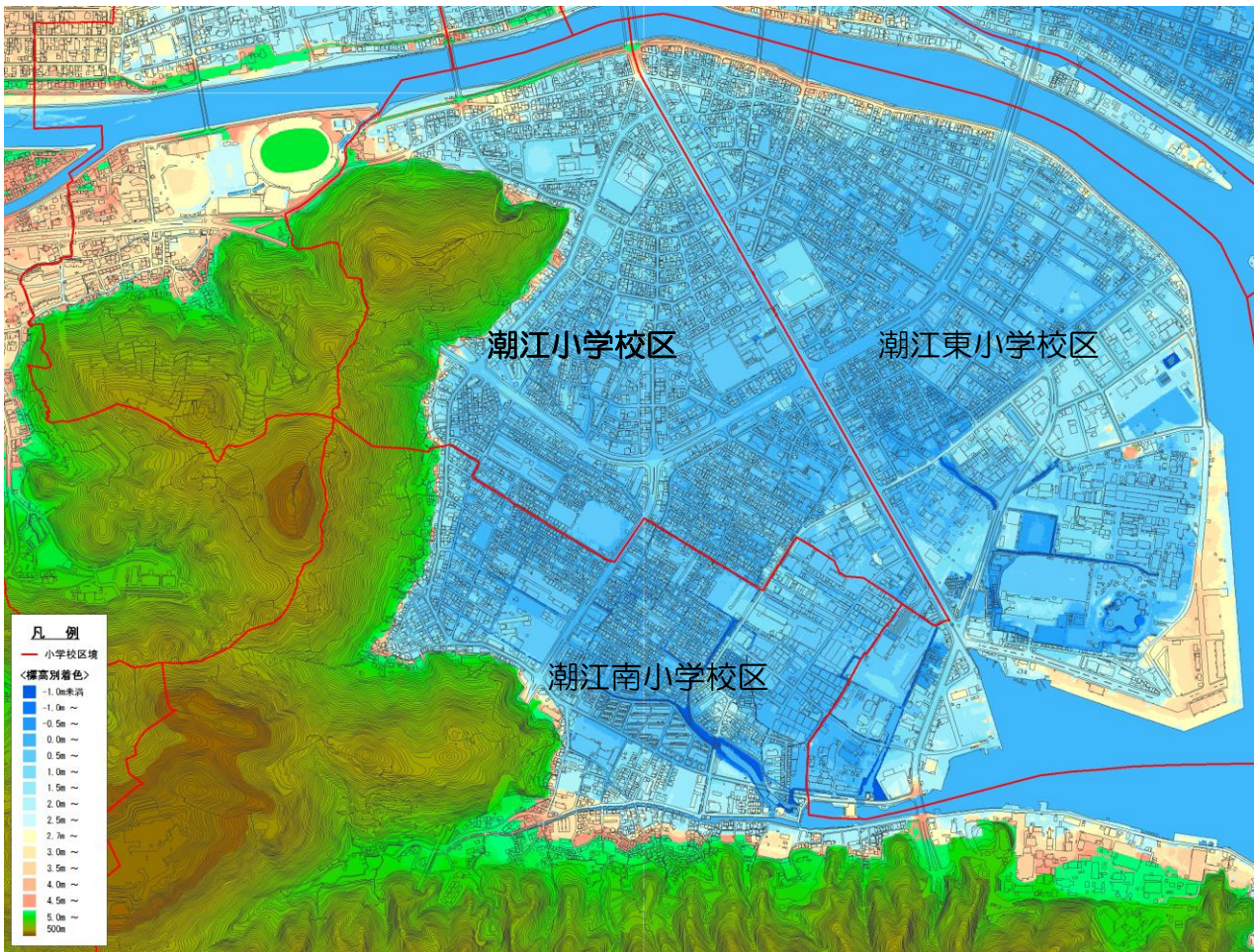


図 17 潮江地区標高図

（国土地理院「海岸における3D電子地図」に関する資料を基に作成）

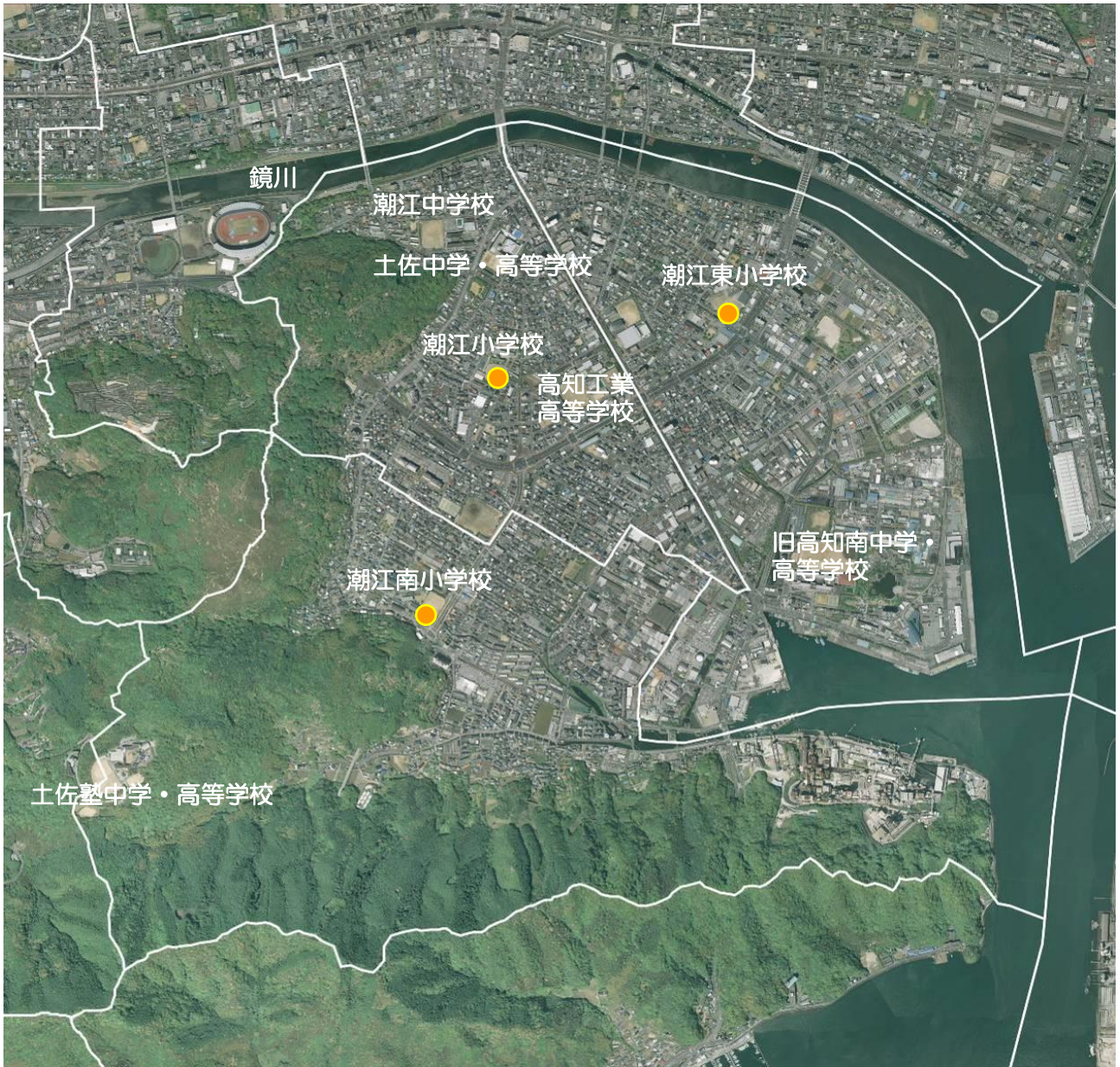


図 18 潮江地区の地形・環境図

第2節 社会環境

潮江小学校区の避難行動に影響を与える社会環境的な特徴は以下のようです。

社会環境の特徴	避難の際の留意点
<p><u>昼間と夜間では、人口分布が異なり、夜間の人口が多い</u></p> <p>昼間は、学校や事業所等に多くの人口が集まっている</p>	<p><u>この計画書では、人口、移動距離、避難速度の低下などを考慮し、夜間を想定する</u></p> <p>ただし、昼間の避難行動は、滞留人口が夜間と大きく異なることから、今後の検討を要する</p>
<p>夜間人口は 8,479 名、世帯数 4,999 世帯、高齢化率は 34.5%と高い（令和7年4月1日時点）</p>	<p>高齢者を含めた幅広い年齢層の避難行動を想定する</p>
<p>小学校区の南側は、工業地帯と近接している</p>	<p>工場の安全性や、避難計画等について情報の共有を図る必要がある</p>
<p>水際は、河川区域・港湾区域の堤防、護岸が設置されている</p>	<p>耐震性能や耐震補強の実施について、情報の共有を図る必要がある</p>

■時間帯別の人口について

潮江地区では、図に示すように、夜間と昼間の滞留人口とその分布が大きく異なります。平成19年度〈第3回〉高知都市圏パーソントリップ調査では、都市部（旭、江ノ口・小高坂、高知駅、本町・はりまや、下知北、下知南）のみ、9時以降の滞留人口が増加し、9～15時台は夜間の約1.4倍の滞留人口となります。その他の地域では、夜間人口が多いと発表されています。このため、潮江地区における今回の計画策定では、夜間人口（高知市住民基本台帳（令和2年7月時点））を想定して検討します。また、潮江地区では、夜間に観光客等が多く集まる施設等は立地していないため、この計画では観光客等の人数は想定していません。

昼間は、事業所や学校、工場等に多くの人が集まっている状況が想定され、避難行動は夜間と大きく異なります。今後は、事業所等の事業継続計画（BCP）や津波避難計画と、潮江小学校区の津波避難計画の調整を図るなど、昼間も含めていつ地震が起こっても適切な避難行動がとれるよう検討を重ねていく必要があります。

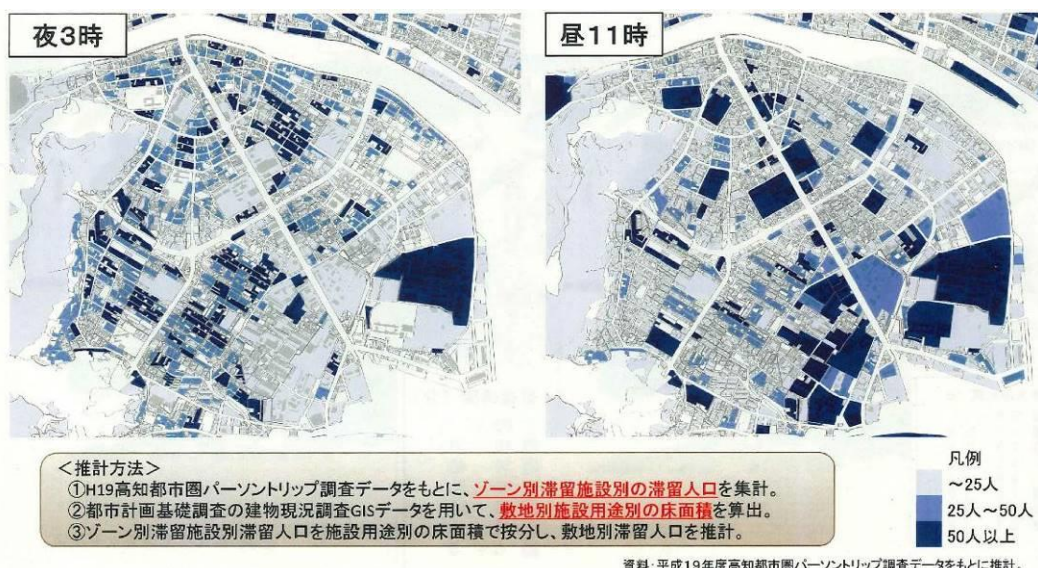


図19 潮江地区における夜間と昼間の滞留人口

■夜間の人口、世帯数、年齢構成

表4 町別の人口、世帯数、年齢構成（令和7年4月1日時点）

町名	人口合計 (人)	世帯数 (世帯)	幼年人口 (人) (15歳未満)	老年人口 (人) (65歳以上)	高齢者率 (%)
梅ノ辻	686	420	55	217	31.6
棧橋通1丁目	751	542	50	268	35.7
棧橋通2丁目	483	245	48	125	25.9
棧橋通3丁目	810	520	46	284	35.1
棧橋通4丁目	978	574	67	284	29.0
天神町	644	432	44	197	30.6
筆山町	90	61	2	37	41.1
塩屋崎町1丁目	240	136	16	103	42.9
塩屋崎町2丁目	853	440	109	189	22.2
百石町1丁目	582	352	46	245	42.1
百石町2丁目	917	508	91	275	30.0
百石町3丁目	974	635	54	416	42.7
百石町4丁目	782	444	71	273	34.9
北竹島町	1,881	1,075	153	769	40.9
北高見町	758	412	56	263	34.7
小学校区の高齢者率→					34.5

出典：高知市総務課調査統計担当

※ 複数の校区に跨る町丁目については、校区外の人口を含むため、校区全体の数値と一致しない。

表5 潮江地区 小・中・高等学校についての情報

学校名	児童・生徒数 (人)	避難場所としての 収容人数(人)	避難場所	備考
潮江中学校	297	1,921	校舎4階及び屋上	
潮江小学校	233	1,422	中舎及び南舎屋上	
潮江南小学校	235	1,699	北舎4階及び屋上、 南舎屋上（コンピ ュータ室を除く）	
潮江東小学校	209	921	北舎及び南舎屋上	
高知工業高等学校	864	2,213	1号館、2号館及び 3号館の4階教室及 び廊下、2号館屋上	生徒数は、全日制と 定時制を合計した人 数
土佐中・高等学校	1,648	1,736	体育館棟アリーナ	
土佐塾中学・高等学校	1,074			

出典 高知市教育委員会学校教育課
高知県教育委員会高等学校課
高知県私学・大学支援課

令和7年度高知市立学校児童生徒数・学級数
令和7年度高知県立高等学校生徒数一覧
令和7年度高知県私立学校名簿

■工場・事業所等の立地状況

潮江地区の南部は、市内でも最も古くから形成された工業地帯であり、多くの事業所や工場が立地しています。

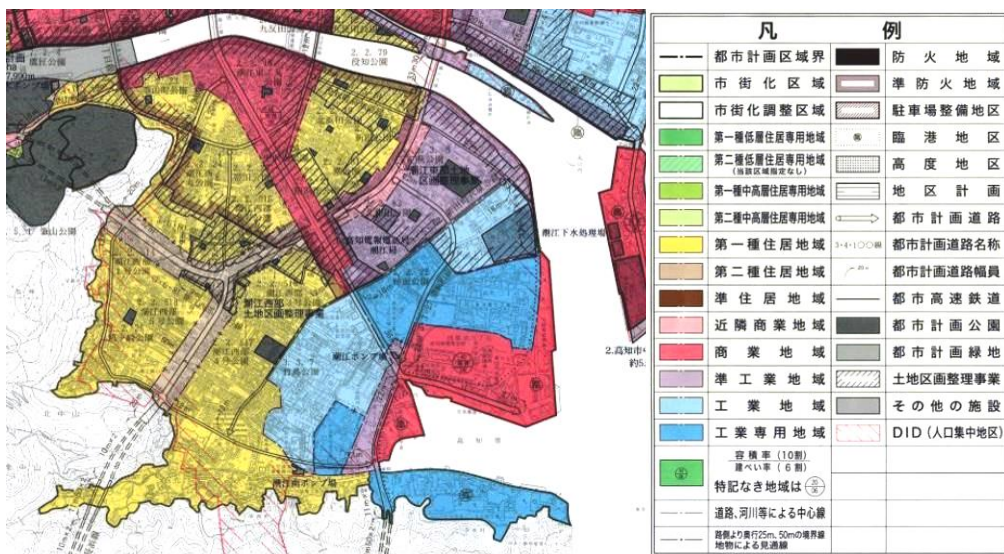


図 20 都市計画図 (出典：高知広域都市計画総括図 高知県 平成 22 年 3 月)

■鏡川工業用水道（筆山配水池）

鏡川工業用水道筆山配水池は、筆山の山腹に延長 314m のトンネルをくり抜いて貯水槽（水量約 41,000m³）とし、その入口及び出口に鉄筋コンクリート製の水槽（接合井）を接合させた構造となっています。出口側接合井は、北高見町に位置し、施設付近は緊急避難場所（潮江⑫）となっています。この施設については、平成 25 年 11 月に高知県公営企業局電気工水課より耐震診断結果が次ページのように報告され、安全性が確認されています。



図 21 鏡川工業用水道位置図 (出典：高知県 HP より)

(耐震診断結果の抜粋)

●耐震診断の方法

最新の指針である「水道施設耐震工法指針・解説 2009 版」(社団法人日本水道協会)に基づき、実際の構造物を忠実に再現した 3 次元解析モデルを作成して、耐震性を確認しました。

なお、想定地震動は、新たな想定 of 南海地震(筆山配水池で考えられる最大級の地震、L2)としています。

●結果

新たな想定 of 南海地震に対して「安全」であることを確認しました。なお、トンネル(貯水槽)については、硬い岩盤に築造されており、耐震性があると考えています。

■水際構造物の状況

潮江地区は、鏡川河口部に位置し、高知県が管理する(河川区域及び港湾区域)河川堤防、護岸が整備されています。

- ① 鏡川右岸堤防は、天神大橋から潮江橋までの区間は旧堤防をもとに整備されたと考えられる構造で、土堤となっている。
- ② 潮江橋から鏡川大橋下流までの堤防は、コンクリート護岸として整備されている。
- ③ 南新田町から南部については、コンクリート擁壁護岸となり、工場が立地する区間からは港湾区域となりコンクリート直立護岸が整備されている。
- ④ 土佐電鉄の棧橋電停付近から孕橋にかけての護岸は、南新田町付近と同様に堤体のないコンクリート擁壁である。



①鏡川右岸(土堤)の状況



②潮江橋下流の状況

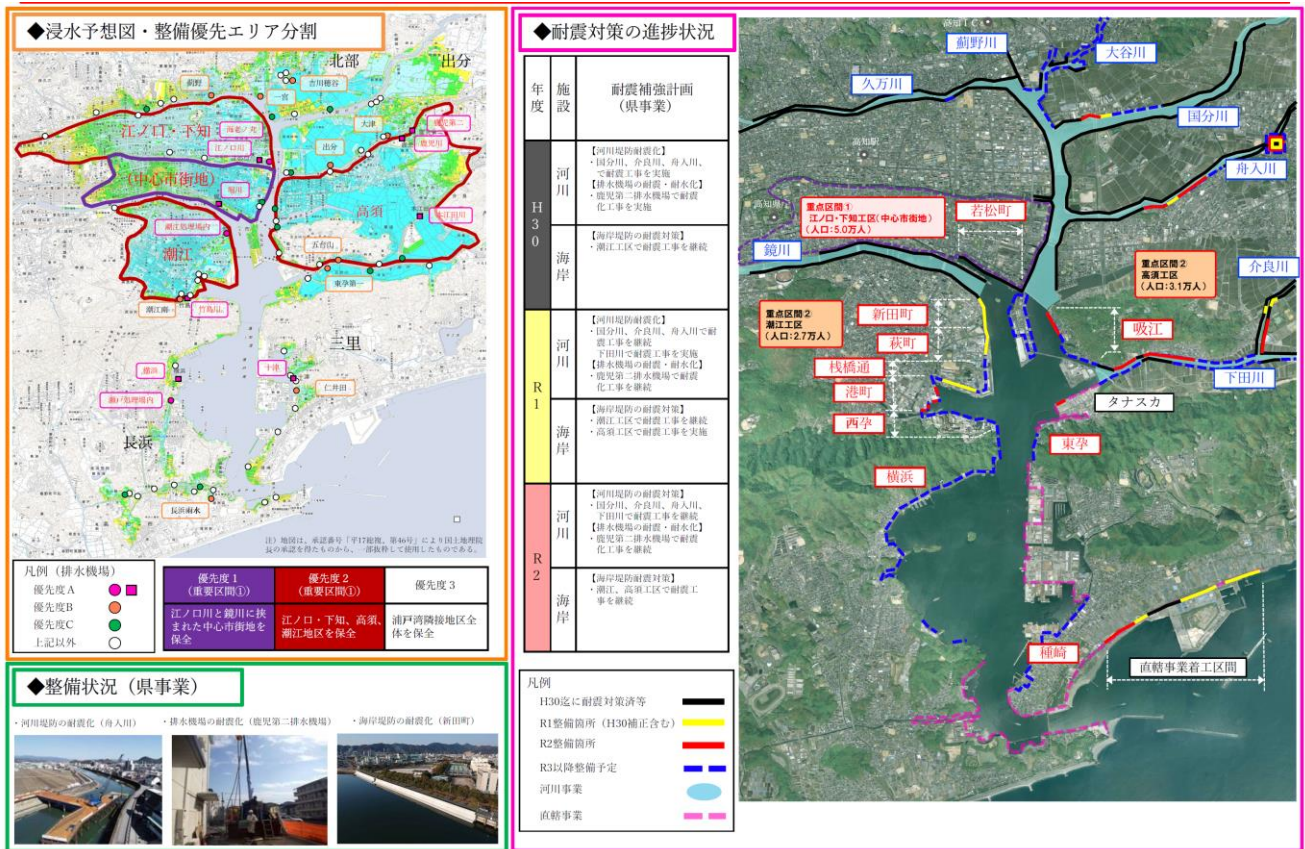


③鏡川大橋下流の状況



④孕橋より上流側の状況

潮江地区では、広域地盤変動と耐震化されていない堤防の沈下によって、津波による浸水が長期間に及ぶことが想定されています。長期浸水に対する河川・海岸堤防の耐震補強の取組を図 22 に示します。



※L1では津波の侵入を防ぐ(防災)、L2では避難時間を稼ぐ(減災)を目指し整備
(出典: 第 22 回高知県・高知市南海トラフ地震対策連携会議について「令和 2 年 11 月 20 日開催」参考資料)

図 22 河川・海岸堤防耐震補強の取組 (令和 2 年 11 月時点)

第5章 潮江小学校区の津波避難の考え方

第1節 避難行動の考え方

ポイント

・ 緊急避難場所を選定する優先度

1 できるだけ自然地形の高台へ

2 自然地形の高台まで逃げられない方、逃げ遅れた方は津波避難ビルへ

津波からの避難は、できるだけ早く、少しでも高いところへ逃げることが基本となります。

地震発生時は、建物被害等による逃げ遅れや、道路被害等による避難速度の低下など、様々な状況が想定されます。複数の選択肢からより安全な避難行動を行うためには、事前に複数の緊急避難場所を検討しておくことが重要です。

潮江小学校区内の緊急避難場所は、筆山などの自然地形の高台と、市が指定した津波避難ビルがあります。逃げ遅れた場合には、最後の手段として津波避難ビル以外の建物など、少しでも高いところへ逃げる必要があります。これらの選択肢について、表6に整理しています。

平成29年度の訓練の結果、津波避難ビルに避難者が集中し、一部の施設では収容可能人数を上回る避難者数が想定されることが明らかになりました。また、潮江地区では広域的な地盤変動により地盤が沈下し、浸水が長期化するおそれがあります。筆山などの自然地形の高台への避難は、長期浸水による孤立者を減らす対策にも繋がります。高知市では緊急避難場所を選定する優先度として以下のように推奨しています。

1 できるだけ自然地形の高台へ

2 自然地形の高台まで逃げられない方、逃げ遅れた場合は津波避難ビルへ

避難の際の移動手段は、徒歩を基本とします。

表6 緊急避難場所の長所・短所

優先度	緊急避難場所	メリット	デメリット
1	自然地形の高台	<ul style="list-style-type: none"> 避難可能人数の制限がない 長期浸水時でも山伝いにさらなる避難が可能 	<ul style="list-style-type: none"> 地震による土砂災害の影響がある（本震・余震） 雨、風の影響を受ける 避難移動距離がやや長くなる
2	指定避難所を兼ねる津波避難ビル	津波避難ビルのメリットに加えて、 <ul style="list-style-type: none"> 一定期間避難生活を送ることがあらかじめ想定されている 収容人数が比較的多い 	<ul style="list-style-type: none"> 長期浸水時に自力での移動が困難
3	津波避難ビル	<ul style="list-style-type: none"> 避難移動距離が最も短くなるケースが多い 	<ul style="list-style-type: none"> 収容人数（スペース）に制限がある 地震により施設が被害を受ける可能性がある 長期浸水時に自力での移動が困難

【避難所・緊急避難場所の定義】

●避難所とは

災害によって自宅が全壊した場合や水や電気などが使用できない場合に、一定期間生活を送る建物等のことです。その中で、市が指定した避難所を「指定避難所」といい、小・中学校などを中心に 277 箇所の避難所を指定しています。（令和7年4月1日時点）

●緊急避難場所とは

津波などから一時的に避難し、身の安全を確保するための自然地形の高台や津波避難ビルなどをいいます。この計画書では、津波からの避難場所のみを扱います。

緊急避難場所を選定するにあたっては、津波浸水の予測時間や浸水の方向、緊急避難場所までの距離などを考慮する必要があります。潮江中学校区内で想定される津波遡上と避難行動の方向を図 22 に示しています。

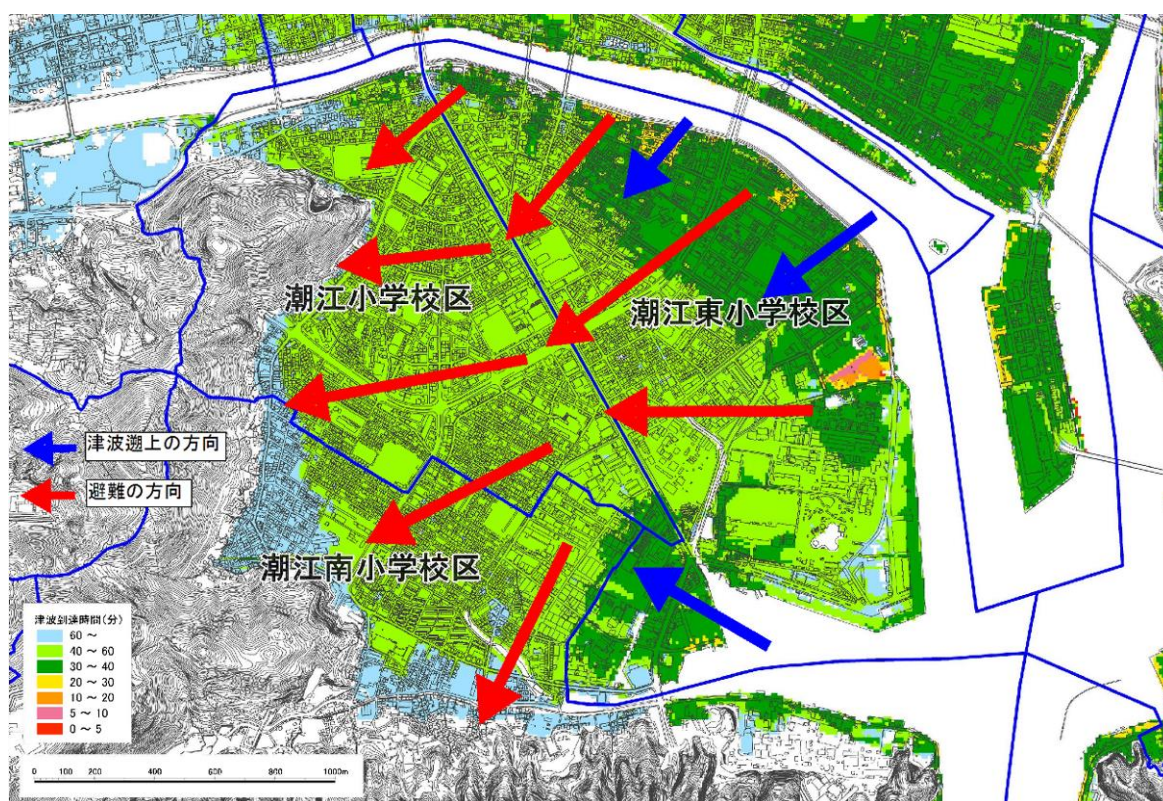


図 22 潮江中学校区で想定される津波遡上と避難行動の方向

避難可能範囲は、以下を目安とします。

■自然地形の高台への避難

避難開始までに必要な時間 A=10分

津波浸水予測時間 B=40分

自然地形の高台までの移動時間 D=5分

避難可能時間 C=25分

避難速度 0.6 (m/秒)

移動可能距離 $L=0.6 \times 25 \times 60=900\text{m}$

移動可能範囲の円(半径) $R=900/1.5=600\text{m}$

(自然地形の高台までの避難可能範囲を目安として直線距離 500mのラインを津波避難行動支援マップに記載)

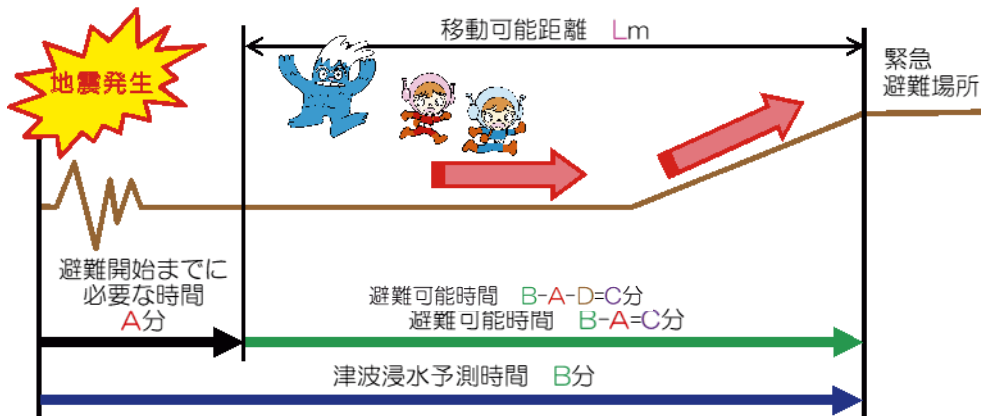


図 24 自然地形の高台への避難

(出典：地域津波避難計画点検マニュアル 平成 25 年 12 月高知県)

■津波避難ビル等への避難

避難開始までに必要な時間 A=10分

津波浸水予測時間 B=30分

津波避難ビル等への垂直避難 D=5分

避難可能時間 C=15分

避難速度 0.6 (m/秒)

移動可能距離 $L=0.6 \times 15 \times 60=540\text{m}$

移動可能範囲の円(半径) $R=540/1.5=360\text{m}$

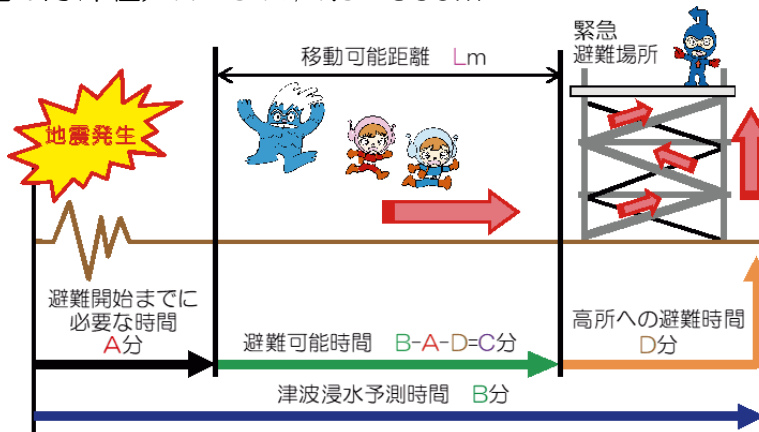


図 25 津波避難ビル等への避難

(出典：地域津波避難計画点検マニュアル 平成 25 年 12 月高知県)

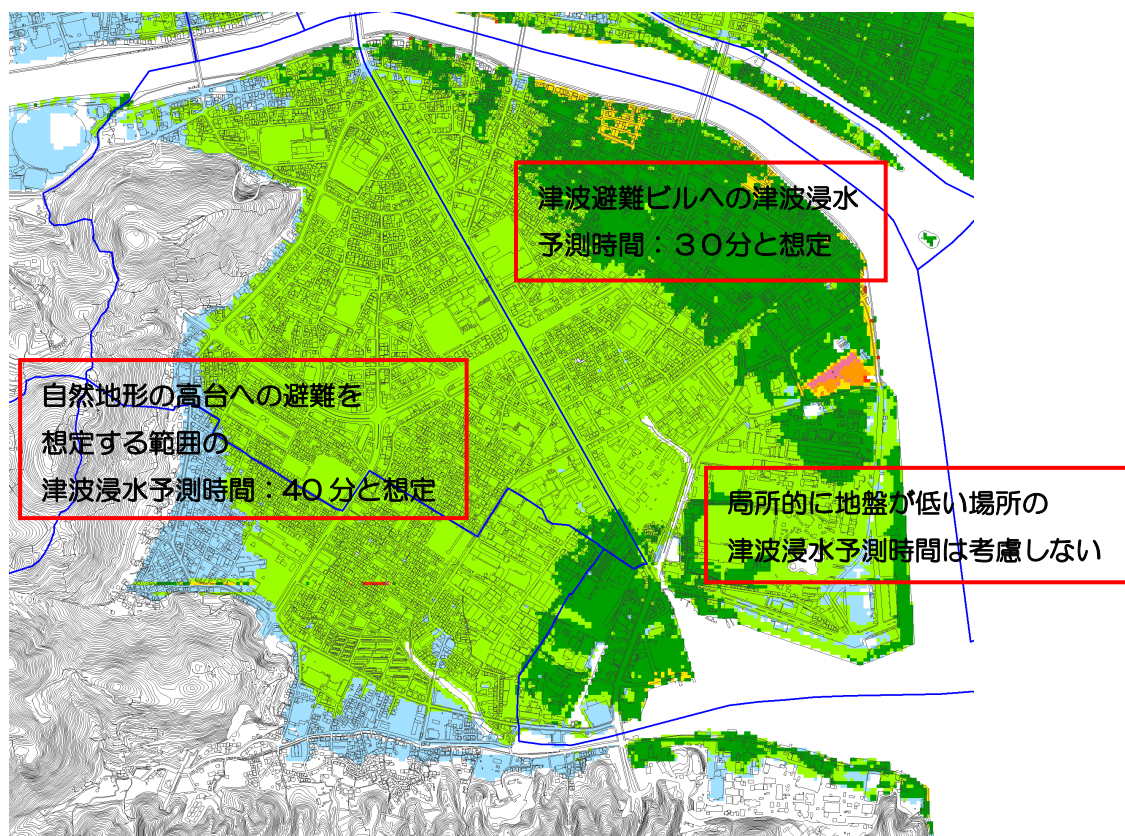


図 26 津波浸水予測時間の設定

第2節 緊急避難場所

(1) 自然地形の高台

平成24年度に実施した潮江小学校区・潮江南小学校区津波避難路整備方針検討会などで検討した箇所を基本として津波避難経路の整備を進めてきました。平成26年度に作成し、令和元年度に改訂された「潮江・潮江南・潮江東小学校区津波避難マップ」で自然地形の高台や津波避難ビルの場所を確認することができます。また、緊急避難場所の入口や津波避難経路の状況を巻末資料に添付します。

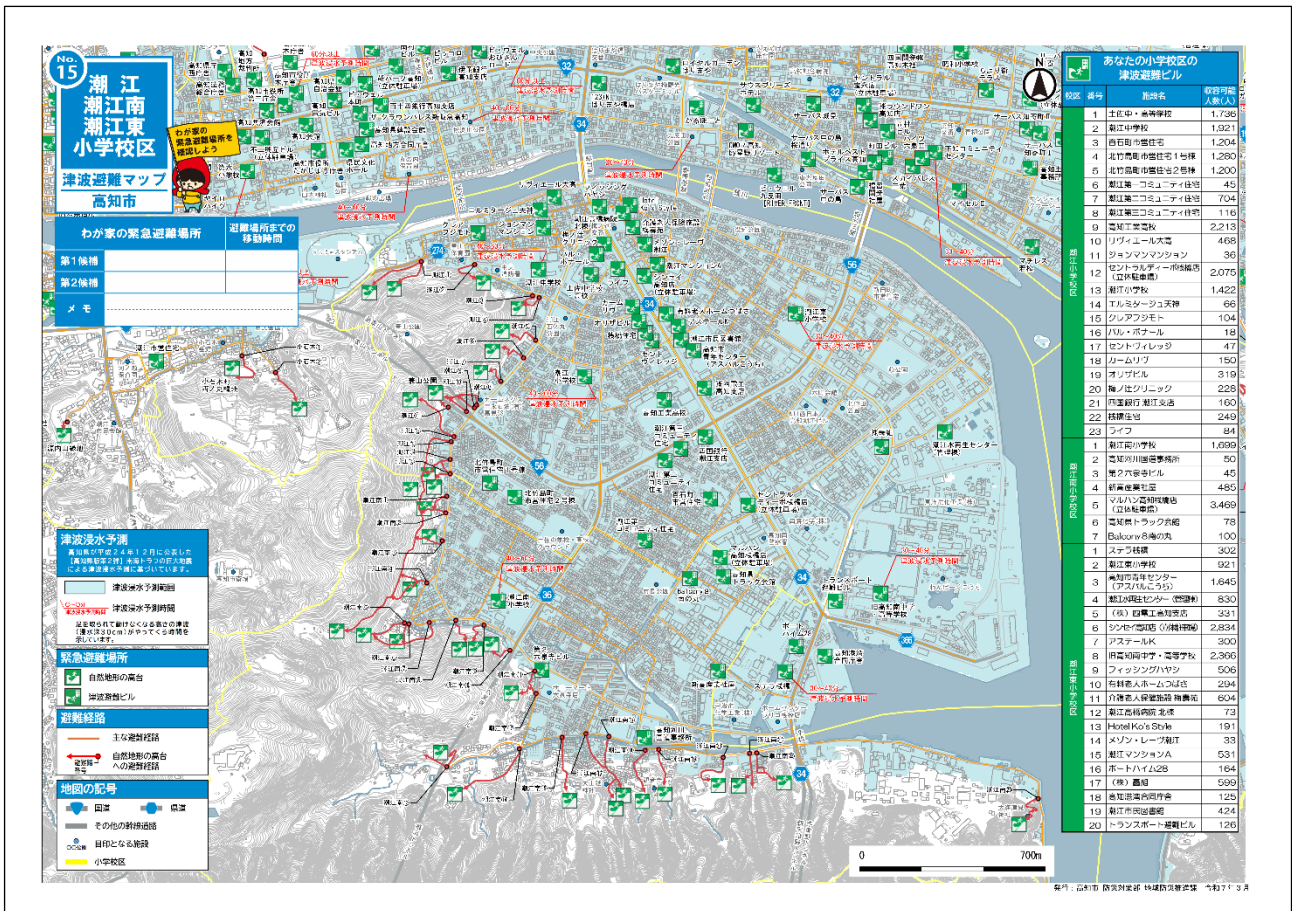


図27 潮江・潮江南・潮江東小学校区津波避難マップ（令和7年3月更新）

津波避難マップは高知市地域防災推進課のホームページからダウンロードすることができます。

【潮江・潮江南・潮江東小学校区津波避難マップ】

高知市 HP : <https://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/12/koutisitunamihinan-map.html>

(2) 津波避難ビル

高知市では、以下のような条件を満たす建物で、所有者やお住まいの方々の同意を得て協定を締結した建物を、津波避難ビルとして指定しています。平成 25 年度には、潮江小学校区津波避難計画に係る検討会等を通じて、潮江小校区連絡協議会防災連合部会（現在の潮江小校区防災連合会）が主体となって、候補ビルへの交渉を行いました。令和 8 年 1 月時点では、潮江小学校区内で 23 箇所の津波避難ビルが指定されています。

【津波避難ビル指定の条件】

- ①昭和 56 年 6 月以降に新耐震基準で施工された建物、あるいはそれ以前の建築でも既に耐震改修を行っている建物
- ②原則として鉄筋コンクリート造または鉄骨鉄筋コンクリート造の建物
※ただし、津波浸水想定、地域の状況等によっては鉄骨造他の建物も認めることができる。
- ③3階以上の建物で、3階の屋上あるいは4階以上の高さの避難スペースがある建物
※ただし、津波避難可能区域の外にある区域等、特別な事情がある場合は、津波浸水深から 3m 以上の高さに避難場所が確保できる建物についても対象とすることができる。
- ④365 日 24 時間、避難が可能である建物
- ⑤津波に対して一定の安全性が確認できた建物

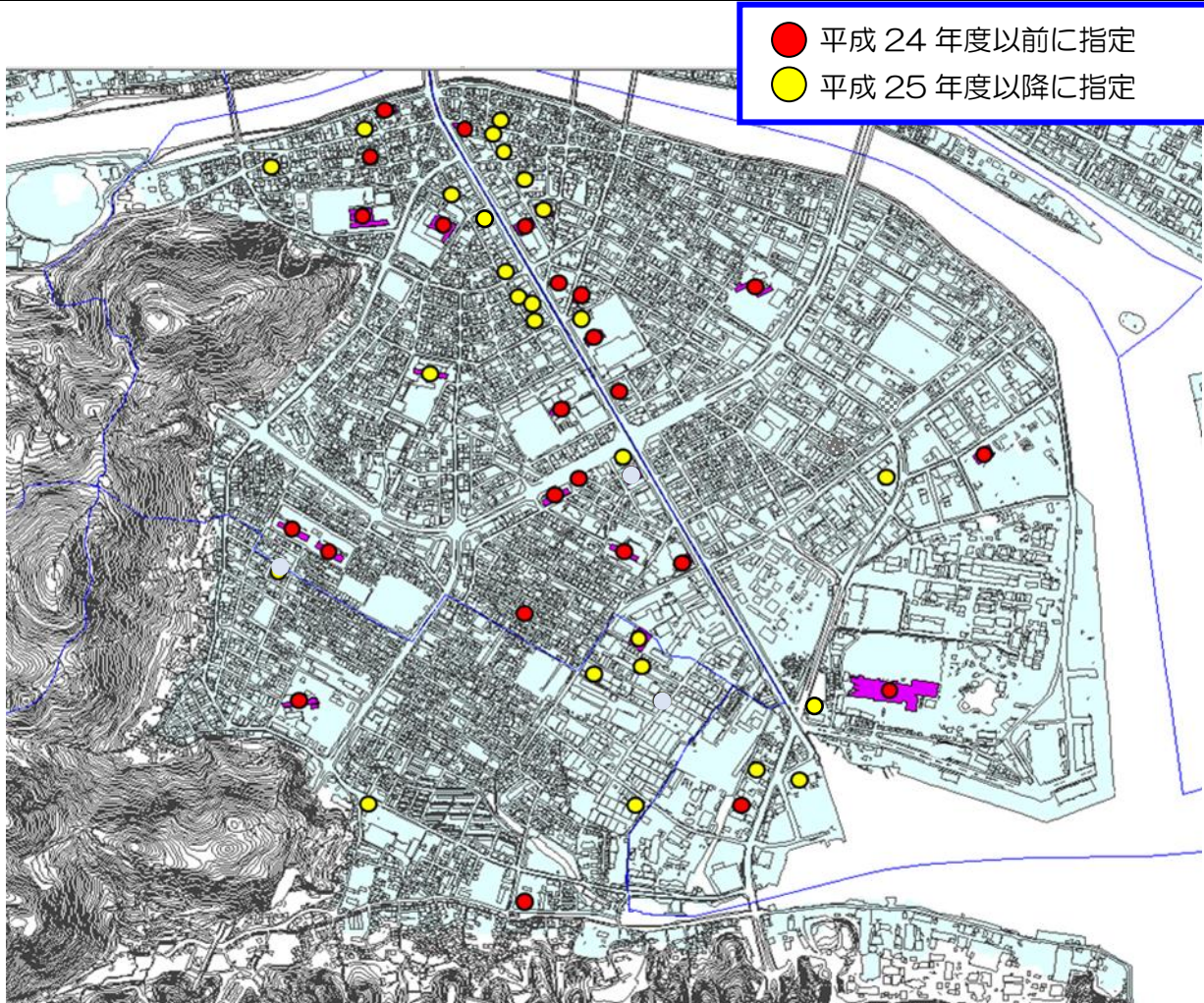





図 28 潮江地区の津波避難ビル指定状況（令和 8 年 1 月時点）

高知市では地域防災推進課のホームページで津波避難ビルの個票を公開しています。個票には施設の概要や施設側からの注意事項、津波避難ビルへの進入方法や避難する場所などの情報が記載されています。日頃から、近隣の津波避難ビルの情報を確認しておきましょう。

高知市津波避難ビル No. 潮江14	
潮江小学校	
施設の概要	
所在地	高知市百石町2丁目4-40 施設種類 学校
大 街	潮江 標 高 1.2m
小 学 校 区	潮江 小学校区
避難場所	中舎及び南舎屋上 収容可能人数 1人/m ² ※
構造、階層	鉄筋コンクリート造 3階建
詳細等実施団体の問い合わせ先	098-832-7145
 	
設置している資機材	
設置場所	北倉3階防災備蓄倉庫北倉4年3組教室
ポート	1 トイレ処理剤 236
救命胴衣	4 アルミシート 1,570
ヘルメット	4 トイレットペーパー 472
ロープ	1 飲料水 356
発電トイレ	48 簡易サン消火器 1
テント	48
施設側からの注意事項など	
避難が長期になる場合の対応として、できる限り早く採集が再始できる運用面の配慮をお願いしたい。	
津波避難ビルへの進入方法、避難する場所など	
	

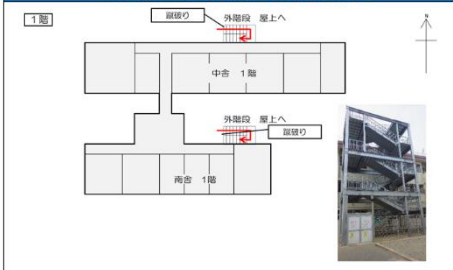

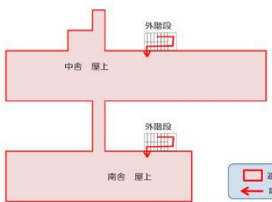


高知市津波避難ビル No. 潮江14	
津波避難ビルへの進入方法、避難する場所など	
	
	
	
	
	
中舎屋上 南舎屋上	

図 29 津波避難ビル個票の一例（潮江小学校）

【津波避難ビル一覧】

高知市 HP : <https://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/12/tunamihinannbiru.html>

(3) 緊急避難場所一覧

自主防災組織ごとに選択肢として想定している緊急避難場所は表7のとおりです。この表は、平成25年度に行った検討会等で確認した、避難の意向等を取りまとめたものです。

潮江小学校区の緊急避難場所一覧は、巻末に添付します。

表7 選択肢として想定している潮江小学校区の緊急避難場所一覧

自主防災組織名	緊急避難場所	人口合計 (人)	世帯数 (世帯)	幼年人口 (人) (15歳未満)	老年人口 (人) (65歳以上)	高齢者率 (%)
北高見町内会自主防災組織	潮江8～15	666	302	108	151	22.7
北竹島第2防災会	潮江8～13 北竹島町市営住宅1号棟 北竹島町市営住宅2号棟	415	198	52	134	32.3
塩屋崎町自主防災会	潮江3～11	1236	617	176	302	24.4
百石町2丁目南自主防災組織	潮江7～11 潮江第二コミュニティ住宅 潮江第三コミュニティ住宅 高知市水道局庁舎 高知工業高等学校 潮江小学校	440	216	67	123	28.0
棧橋2丁目西町内自主防災会	高知工業高等学校 潮江小学校	126	65	11	36	28.6
天神町自主防災組織	潮江1～4 潮江中学校	661	402	56	185	28.0
梅ノ辻(西)自主防災会	潮江1～4 潮江中学校 リヴィエール大高	389	208	30	151	38.8
筆山町防災組織	潮江1～4 潮江中学校	167	109	9	63	37.7
潮江中央町内会自主防災会	潮江3～11 土佐中・高等学校	702	390	108	186	26.5
百石町1丁目町内会防災会	潮江3～5	442	236	30	166	37.6
百四・自主防災部	マルハン高知棧橋店 北竹島町市営住宅1号棟 北竹島町市営住宅2号棟	901	471	101	304	33.7
アルファ棧橋Ⅱ防災会	セントラルティーボ棧橋店 マルハン高知棧橋店	426	202	48	71	16.7
百石町2丁目北自主防災会	潮江5～7 高知工業高等学校 潮江小学校	617	302	100	154	25.0
なし(棧橋3丁目, 百石町3丁目)	百石市営住宅 潮江第二コミュニティ住宅 潮江第三コミュニティ住宅 高知市水道局庁舎 セントラルティーボ棧橋店 マルハン高知棧橋店	1314	747	126	487	37.1
なし(北竹島町第7)	潮江8～11	133	66	14	37	27.8
なし(北竹島町第一、北竹島町第三、北竹島第8、北竹島光)	潮江8～15 北竹島町市営住宅1号棟 北竹島町市営住宅2号棟	878	416	93	286	32.6
小学校区の高齢者率→						29.8

※ 人口合計、世帯数、幼年人口、老年人口、高齢者率、自主防災組織名は平成25年度当時のもの。

※ 高知市上下水道局については津波避難ビル指定解除済み(令和8年1月時点)

第3節 避難困難地域の検討

津波が到達するまでに避難が困難となるおそれがある地区を把握することを目的に、図 30 に示す検討図を作成しました。この結果、令和8年1月時点の津波避難ビルを考慮した場合は、潮江東小学校区の一部に避難困難となるおそれがある地域が見られます。潮江地区全体の津波避難ビルは、平成26年度以降7箇所が新規指定され、50箇所となっています（令和8年1月時点）が、当該地域においては令和8年1月時点においても津波避難ビルの指定がなく、避難困難地域が解消されていません。地域内には津波避難ビルの要件を満たすビルが存在するため、今後も指定に向けての取組を重点的に進める必要があります。

また、この図は以下の条件を仮定して、机上で検討した結果であるため、図上では避難可能であっても油断することなく、訓練等を継続しましょう。

■設定条件等

- 夜間の人口分布を基に検討したものです。
- 自然地形の高台まで避難可能な距離の目安として浸水想定区域の末端から直線距離500mのライン（点線）を表示しています。
- 津波避難ビルへの避難可能距離は、階段の上り時間等を考慮し360mを目安としています。
- 避難可能距離は、歩行速度を0.6m/秒と仮定しています。これは、成人男性が通常歩く速度の約半分程度の速度です。
- 自然地形の高台は、収容人数を設定していません。
- 津波避難ビルは、避難場所1㎡あたり1人として収容人数を設定しています。
- 昼間の場合は、学校等に生徒が避難することや、人口分布が大きく異なるため、今後検討が必要です。

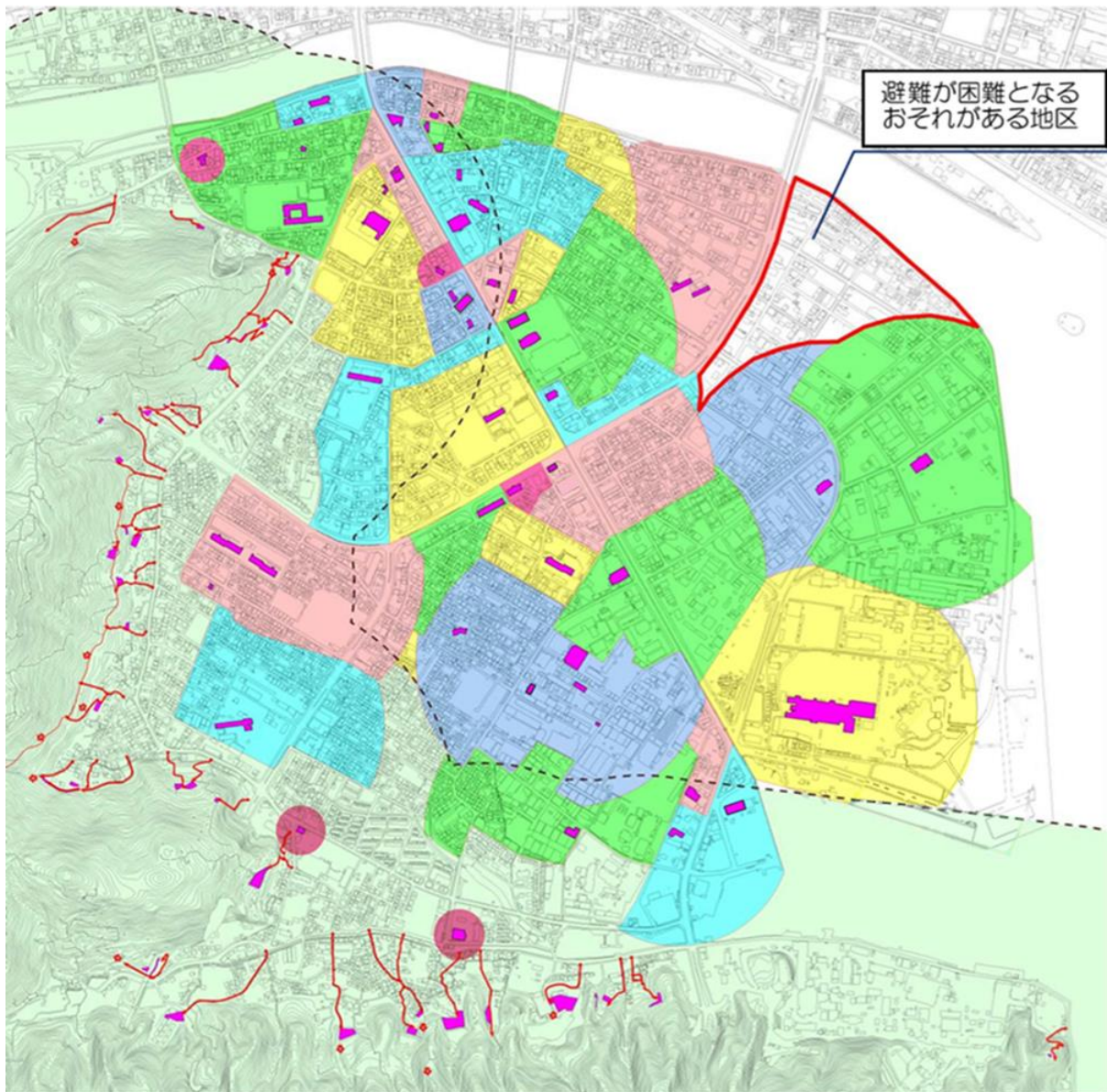


図 30 避難困難地域の検討図（令和8年1月時点の津波避難ビルを考慮した場合）

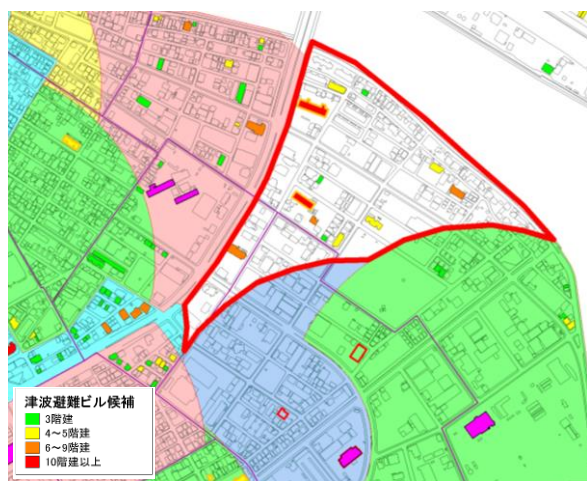


図 31 候補ビルの状況

第4節 津波避難経路

地区内の人家から緊急避難場所に至る全ての経路を津波避難経路とします。そのなかで、避難行動が集中する主要な津波避難経路として以下のような経路を選定しました。主要な津波避難経路において、道路が閉塞するなど避難行動に影響を及ぼす課題は、解決に向けて重点的に取り組みます。

【主要な津波避難経路の選定】

- 緊急避難場所への最短経路
- 津波が進入してくる方向へ向かわない
- 道路幅員6m以上（目安）の広い道路
- 閉塞等のリスクが少ない経路

主要な津波避難経路に至る地区内の経路については、避難方向を矢印で図示し、避難方向がわかりやすいよう工夫します。

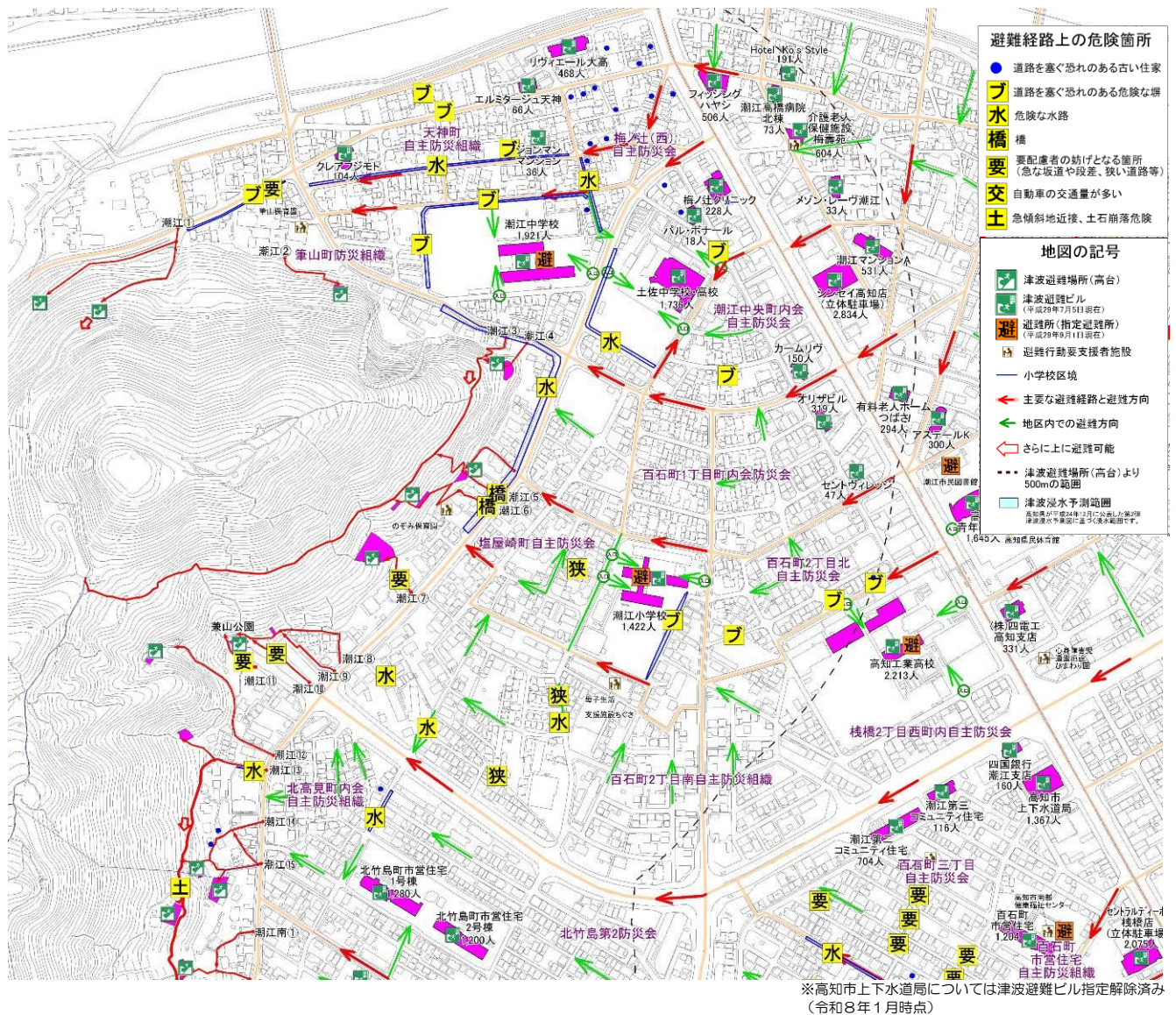


図32 主要な津波避難経路

第6章 津波避難計画の検証

第1節 津波避難計画の検証

潮江小学校区では平成25年度の津波避難計画策定後、津波避難経路の整備や津波避難ビルの指定等による緊急避難場所の確保、避難訓練等を行ってきました。これらの取組を踏まえて、平成29年度に津波避難計画の検証を行いました。検証の流れは下図のとおりです。

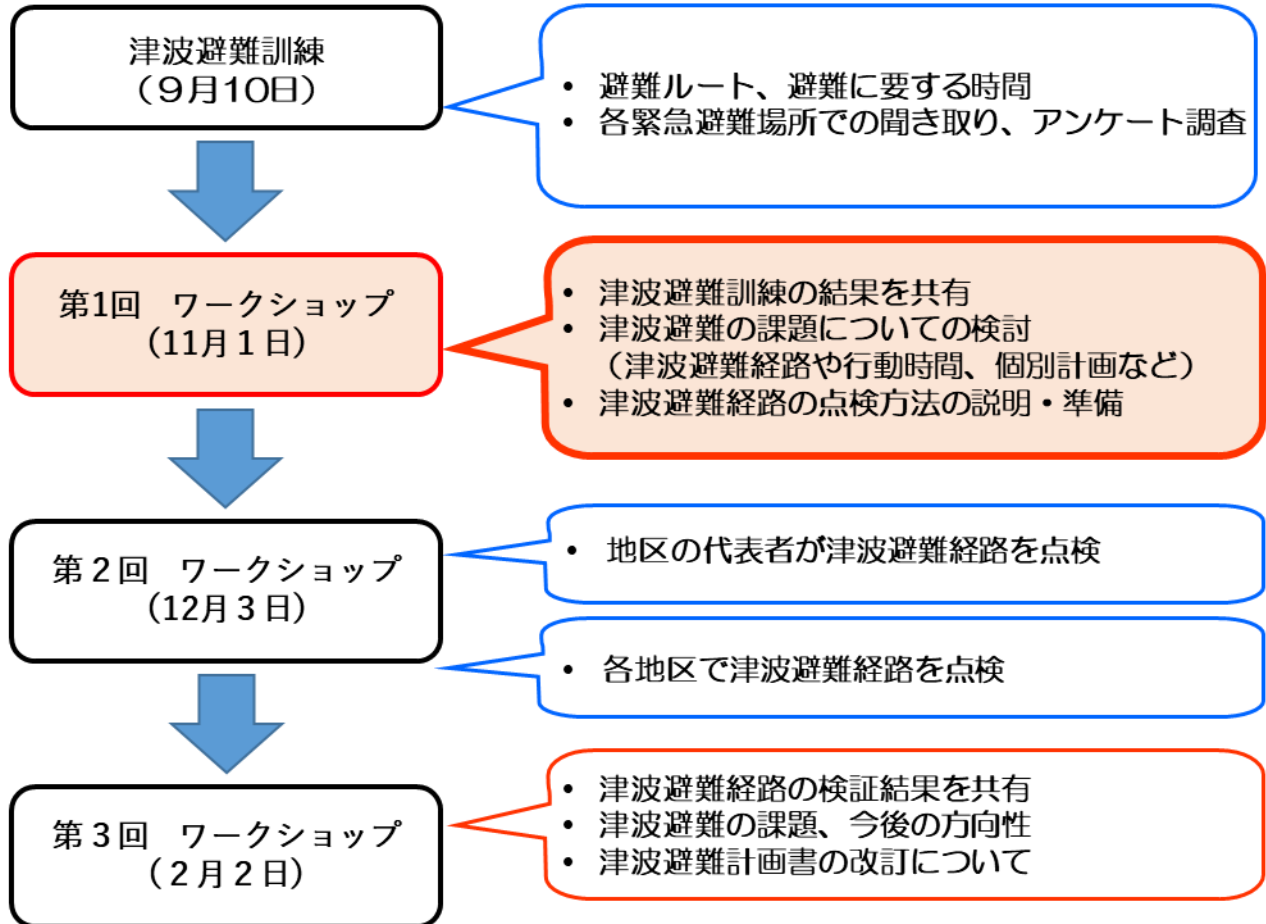


図33 平成29年度潮江小学校区津波避難計画検証の流れ

平成29年9月10日には、潮江小学校区全体で初となる津波避難訓練を実施しました。訓練当日は22箇所の津波避難ビルと15箇所の自然地形の高台へ避難し、アンケートを記入いただきました。



津波避難訓練の様子

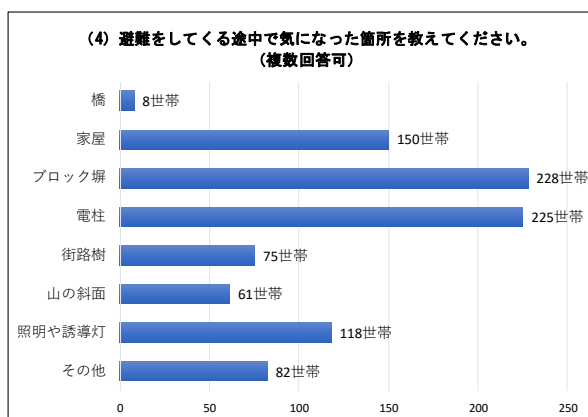
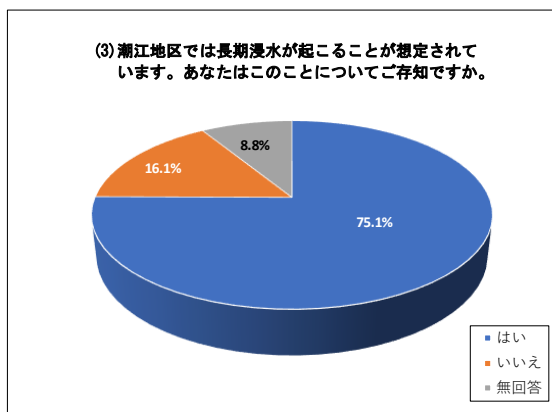
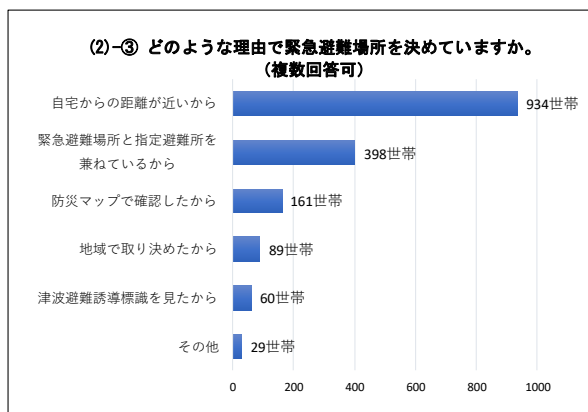
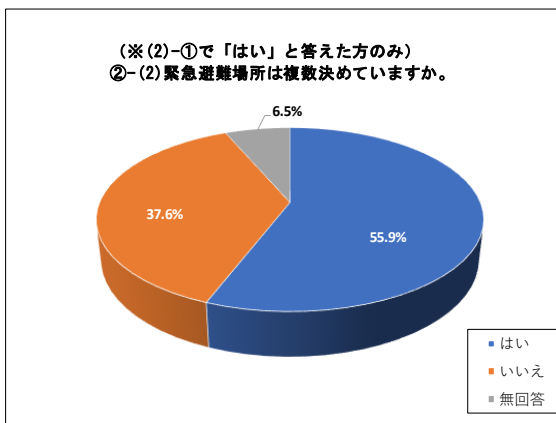
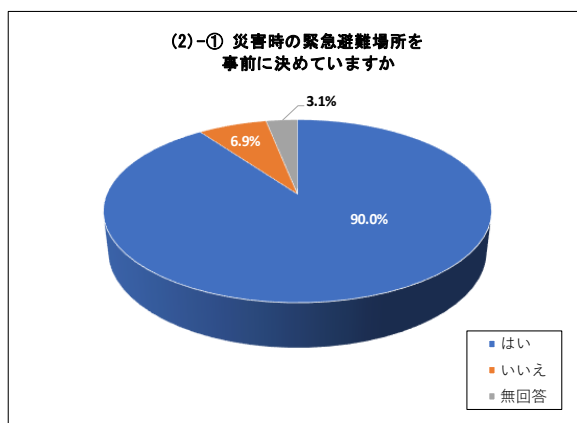
アンケートでは、自宅から緊急避難場所までの津波避難経路や津波避難に関する意識について調査を行いました。自主防災組織代表者等の協力を得てアンケートの配布・回収を行い、訓練当日と訓練前・訓練後を合わせて1182枚を回収しました。

表8 訓練結果

避難訓練当日に回収	740枚
避難訓練前・終了後に回収	442枚
合計回収枚数	1182枚
回収率	25.4% (回収1182枚/配布4653枚)
参加者数	1828名

(※参加者数は回収したアンケート裏面、家族構成の人数の合計)

アンケート結果は次のとおりです。



緊急避難場所として津波避難ビルを選んだ避難者は全体の 82%で、高台に避難した避難者は全体の 13%でした。一方で次ページ表 10 のように、潮江⑧～⑪（兼山公園）など一部の自然地形の高台には多くの避難者が集中して避難しています。

また、年齢が高い方が津波避難ビルに避難する傾向があることも分かりました。

表 9 アンケート回答者の傾向

【緊急避難場所の傾向】

【避難者の年齢構成】

緊急避難場所	回答数	割合
津波避難ビル	971	82%
自然地形の高台	154	13%
行先不明	57	5%
合計	1182	100%

区分	～19歳	20歳～ 39歳	40歳～ 64歳	65歳～ 74歳	75歳～
割合	17.4%	14.2%	31.7%	17.5%	19.2%
人数	487人	396人	887人	490人	536人

(※人数はアンケートより集計)

【年齢別の傾向】

区分	～19歳	20歳～ 39歳	40歳～ 64歳	65歳～ 74歳	75歳～
津波避難ビル	83.6%	83.1%	87.3%	89.0%	88.6%
	(407人)	(329人)	(774人)	(436人)	(475人)
自然地形の高台	16.4%	16.9%	12.7%	11.0%	11.4%
	(80人)	(67人)	(113人)	(54人)	(61人)

表 10 緊急避難場所ごとの回収枚数と参加人数

	緊急避難場所名	回収枚数（枚）	参加者数（人）	
津波避難ビル	土佐中・高等学校	87	220	
	潮江中学校	64	165	
	百石町市営住宅	230	515	
	北竹島町市営住宅1号棟	68	166	
	北竹島町市営住宅2号棟			
	潮江第一コミュニティ住宅	26	55	
	潮江第二コミュニティ住宅	21	49	
	潮江第三コミュニティ住宅	14	29	
	高知市上下水道局	26	61	
	高知工業高等学校	66	178	
	リヴィエール大高	21	37	
	ジョンマンマンション	2	5	
	セントラルディーポ棧橋店	38	105	
	潮江小学校	251	675	
	エルミタージュ天神	1	3	
	クリアフジモト	11	32	
	パル・ボナール	3	6	
	セントヴィレッジ	12	32	
	カームリヴ	4	8	
	オリザビル	3	7	
	梅ノ辻クリニック	23	73	
	四国銀行 潮江支店	0	0	
	津波避難ビル合計	971	2421	
自然地形の高台 （避難路）	潮江①	3	6	
	潮江②	2	2	
	潮江③	2	3	
	潮江④	0	0	
	潮江⑤	7	22	
	潮江⑥	7	23	
	潮江⑦	8	25	
	潮江⑧～⑪（兼山公園）	78	194	
	潮江⑫	20	39	
	潮江⑬	6	13	
	潮江⑭	12	23	
	潮江⑮	9	25	
		高台合計	154	375

※参加者数はアンケート裏面、家族構成の人数の合計
 ※高知市上下水道局については津波避難ビル指定解除済み（令和8年1月時点）

第2節 避難場所の収容能力に対する避難者数の推計

平成29年度に行った津波避難計画の検証で実施したアンケートに基づき、自宅から緊急避難場所までの津波避難経路を地図上にプロットするとともに、津波避難ビルごとの想定避難者数をカウントし、表11に整理しました。

潮江小学校や高知市上下水道局など複数の津波避難ビルで、施設の収容可能人数をアンケート結果から想定した避難者数が上回る結果となりました。潮江中学校や高知工業高等学校などは施設の収容可能人数に対して余裕がありますが、潮江南小学校区や潮江東小学校区の避難者数も今後検討していく必要があります。図34は潮江小学校区への避難者の行動範囲の一例です。

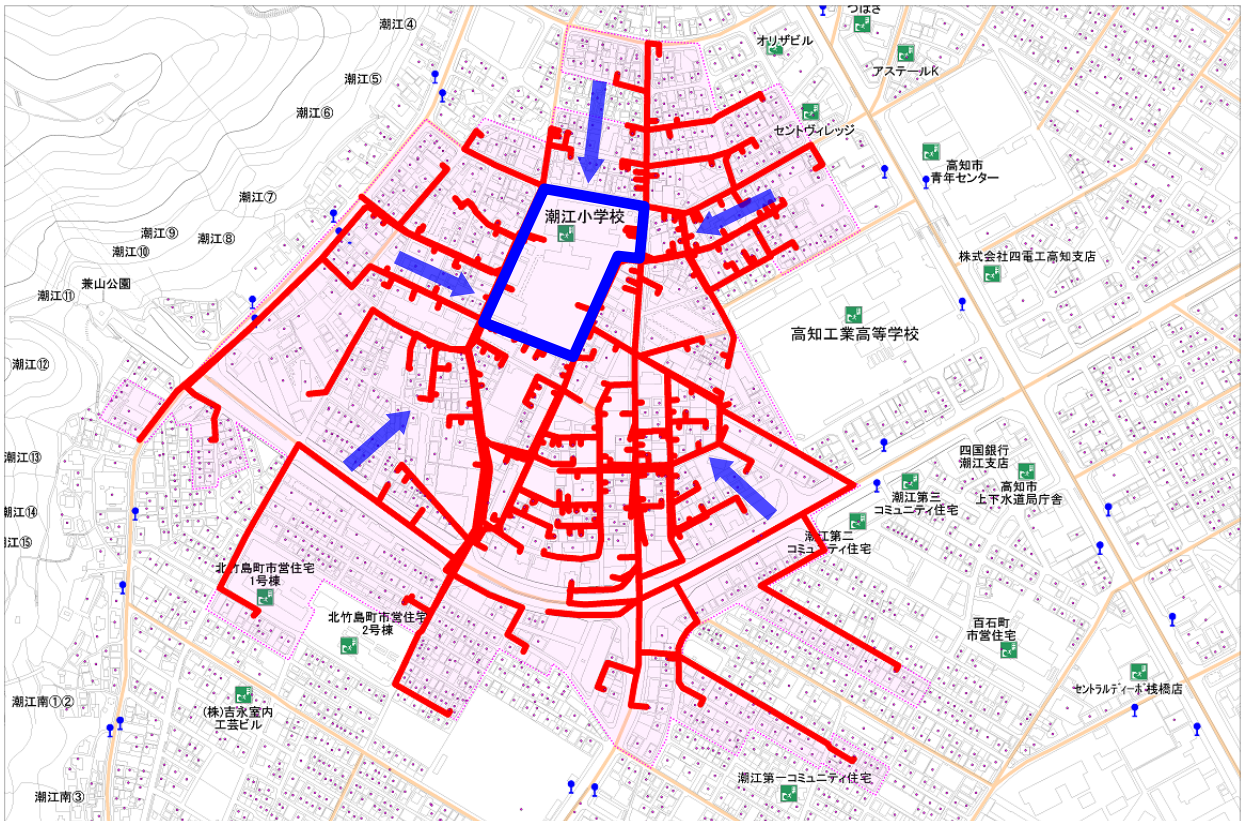
表11 施設ごとの想定避難者数（津波避難ビル）

施設名	収容可能人数（人）	アンケート結果から想定した避難者数（人）
土佐中・高等学校	1,736	1,457
潮江中学校	1,921	1,779
百石町市営住宅	1,204	1,521
北竹島町市営住宅1号棟	1,280	1,463
北竹島町市営住宅2号棟	1,200	1,476
潮江第一コミュニティ住宅	45	684
潮江第二コミュニティ住宅	704	1,154
潮江第三コミュニティ住宅	116	602
高知市上下水道局	1,367	2,171
高知工業高等学校	2,213	1,950
リヴィエール大高	468	160
ジョンマンマンション	36	89
セントラルディーボ棧橋店	2,075	1,277
潮江小学校	1,422	3,850
エルミタージュ天神	66	163
クレアフジモト	104	203
パル・ボナール	18	90
セントヴィレッジ	47	349
カームリヴ	150	203
オリザビル	319	240
梅ノ辻クリニック	228	188
四国銀行 潮江支店	160	0
合計	16,879	21,069

※赤字はアンケート結果から想定した避難者数が施設の収容可能人数を上回っている施設

※アンケート結果から想定した避難者数の合計人数は、行動範囲に重なりが生じているため、実際の潮江小学校区の人口（平成25年3月末時点：9513人）を上回っています。

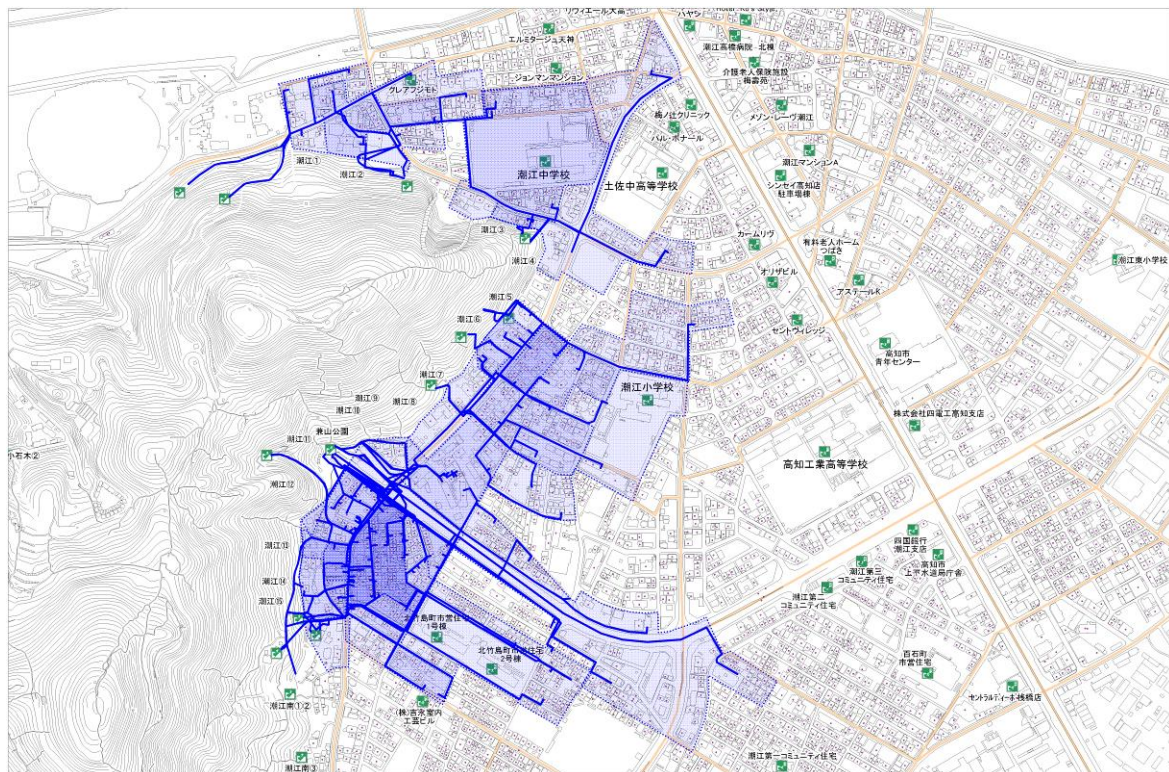
※高知市上下水道局については津波避難ビル指定解除済み（令和8年1月時点）



※(株)吉永室内工業ビル、高知市上下水道局については津波避難ビル指定解除済み。(令和8年1月時点)

図 34 避難行動範囲の一例(潮江小学校)

また、津波避難訓練では、図 35 に示す範囲からの避難者が自然地形の高台に避難していました。青色のエリアは自然地形の高台への避難者の行動範囲を示しています。自然地形の高台までの避難可能範囲の目安となる直線距離 500m 以内のエリア内の住民も自然地形の高台以外の緊急避難場所(津波避難ビル)に避難している人が多いことがわかりました。



※(株)吉永室内工業ビル、高知市上下水道局については津波避難ビル指定解除済み。(令和8年1月時点)

図 35 自然地形の高台への避難行動の重ね図

自然地形の高台への避難行動範囲から想定される避難者数を表 12 に示します。

表 12 自然地形の高台への想定避難者数

避難場所名	アンケート結果から 想定した避難者数（人）
潮江①	184
潮江②	328
潮江③	186
潮江④	351
潮江⑤	369
潮江⑥	388
潮江⑦	642
潮江⑧～⑪（兼山公園）	1,153
潮江⑫	400
潮江⑬	430
潮江⑭	331
潮江⑮	600
合計	5,362

第1回ワークショップではアンケート結果をもとに自主防災組織・町内会ごとの緊急避難場所の確認を行いました。

表13 自主防災組織・町内会ごとの緊急避難場所の確認 ※  : 自然地形の高台

自主防災組織(町内会)名	緊急避難場所	回答数	割合	回答総数	ワークショップでの意見
筆山町防災組織	潮江1	1	7.7%	13	
	潮江中学校	11	84.6%		
	土佐中・高等学校	1	7.7%		
天神町自主防災組織	潮江1~2	4	10.3%	39	
	潮江中学校	19	48.7%		
	クリアフジモト	10	25.6%		
	土佐中・高等学校	2	5.1%		
	リヴィエール大高	2	5.1%		
	エルミタージュ天神	1	2.6%		
	ジョンマンマンション	1	2.6%		
梅ノ辻(西)自主防災会	潮江中学校	20	22.2%	90	・潮江中学校に避難。地域の備蓄が潮江中学校に置いてある。
	リヴィエール大高	19	21.1%		
	土佐中・高等学校	24	26.7%		
	梅ノ辻クリニック	23	25.6%		
	パル・ボナール	3	3.3%		
	ジョンマンマンション	1	1.1%		
塩屋崎町自主防災会	潮江3~11	22	27.2%	81	・山への避難も実施したが、勾配もきつく、長時間滞在できないため、段々と津波避難ビルへ避難する方が多くなった。皆なんとなく山へ逃げた方がいいと頭ではわかっているが、津波避難ビルに比べてメリットが少ないと感じる。 ・高台への避難路の入り口につながる橋の耐震性が不安。
	潮江小学校	34	42.0%		
	潮江中学校	13	16.0%		
	土佐中・高等学校	12	14.8%		
潮江中央町内会自主防災会	土佐中・高等学校	25	71.4%	35	・土佐中学校・高校と潮江小学校へ避難を予定している。
	セントヴィレッジ	6	17.1%		
	カームリヴ	3	8.6%		
	オリザビル	1	2.9%		
百石町1丁目町内会防災会	潮江5	1	1.9%	54	・ほとんどが土佐中学校・高校と潮江小学校へ避難。
	潮江小学校	24	44.4%		
	土佐中・高等学校	23	42.6%		
	セントヴィレッジ	4	7.4%		
	高知工業高等学校	1	1.9%		
	オリザビル	1	1.9%		
百石町2丁目北自主防災会	潮江小学校	62	62.0%	100	・勾配がきつい。 ・潮江小は避難所と避難場所の両方の機能を有している。 ・避難路の潮江5~7は使用を予定していない。
	高知工業高等学校	37	37.0%		
	百石町市営住宅	1	1.0%		
百石町2丁目南自主防災組織	潮江8	1	0.8%	130	・山は天候で不可。冬は寒く、土砂災害の恐れもある。
	潮江小学校	112	86.2%		
	高知工業高等学校	16	12.3%		
	北竹島町市営住宅	1	0.8%		

表 14 自主防災組織・町内会ごとの緊急避難場所の確認

自主防災組織(町内会)名	緊急避難場所	回答数	割合	回答総数	ワークショップでの意見
棧橋2丁目西町内自主防災会	高知工業高等学校	11	100.0%	11	・100%。高知工業へ避難することで予定どおり。
北高見町内会 自主防災組織	潮江8～15	109	96.5%	113	・町内として、潮江8～15へ避難するようとりきめている。 ・防災倉庫も自主防で設置。
	北竹島町市営住宅	2	1.8%		
	潮江小学校	2	1.8%		
北竹島町第7町内会	潮江8～11	3	42.9%	7	
	潮江小学校	3	42.9%		
	北竹島町市営住宅	1	14.3%		
北竹島第2防災会	潮江8～11	2	5.3%	38	・ほとんどは北竹島市営住宅へ。そのまま避難(垂直避難)も。
	北竹島町市営住宅	34	89.5%		
	潮江小学校	2	5.3%		
北竹島町第三町内会	北竹島町市営住宅	9	90.0%	10	
	潮江12	1	10.0%		
北竹島町第一町内会	北竹島町市営住宅	6	100.0%	6	
北竹島第8町内会	北竹島町市営住宅	11	100.0%	11	
棧橋通3丁目 西町内会	高知市上下水道局 ※3	19	59.4%	32	・ほとんど土佐中高へ避難。訓練当日、四国銀行は閉まっていたため、避難しなかった。
	潮江第三コミュニティ住宅	11	34.4%		
	潮江第二コミュニティ住宅	1	3.1%		
	オリザビル	1	3.1%		
百石町三丁目 自主防災会	百石町市営住宅	110	93.2%	118	・ほとんどが百石町市営住宅へ避難。 ・日頃から百石町市営住宅と合同訓練を実施。
	潮江第二コミュニティ住宅	5	4.2%		
	高知市上下水道局 ※3	1	0.8%		
	セントラルティーボ高知棧橋店	1	0.8%		
	潮江8～11	1	0.8%		
百石町市営住宅 自主防災組織	百石町市営住宅	104	99.0%	105	
	高知市上下水道局 ※3	1	1.0%		
百四・自主防災部	潮江第一コミュニティ住宅	17	32.1%	53	・潮江第一コミュニティ住宅が一番近い。 ・周辺の津波避難ビルにも避難することになっている。
	潮江第二コミュニティ住宅	14	26.4%		
	百石町市営住宅	9	17.0%		
	潮江小学校	6	11.3%		
	高知市上下水道局 ※3	4	7.5%		
	潮江第三コミュニティ住宅	2	3.8%		
	潮江8～11	1	1.9%		
サーパス棧橋通 第2町内会	セントラルティーボ高知棧橋店	7	100.0%	7	
アルファ棧橋Ⅱ 防災会	セントラルティーボ高知棧橋店	21	100.0%	21	

※1 回答数の割合は少数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

※2 自主防災組織(町内会)名が未記入のアンケートは集計に入っていないため、緊急避難場所ごとの回収枚数が表と一致しない場合があります。

※3 高知市上下水道局については津波避難ビル指定解除済み(令和8年1月時点)

ほとんどの自主防災組織や町内会では津波避難ビルを緊急避難場所として選んでいます。一方で事前に地域での緊急避難場所を自然地形の高台に決め、訓練などに取組んでいる地域もあります。このような地域では防災倉庫の設置や定期的な草刈りなど自然地形の高台の整備も行っています。

第3節 避難に要する時間

アンケート結果より津波避難に要する時間を整理し、津波到達までに避難が完了できるかを検証しました。

表 15 各緊急避難場所までの避難に要した時間

	緊急避難場所名	回収枚数(枚)	避難者数(人)	想定津波到達時間(分)	最大避難時間(分)	避難に要した時間						
						1~4分	5~9分	10~14分	15~19分	20~24分	25~29分	30分以上
						世帯数	世帯数	世帯数	世帯数	世帯数	世帯数	世帯数
津波避難ビル	土佐中・高等学校	87	220	40~60分	15	39	38	8	1	0	0	0
	潮江中学校	64	165	40~60分	20	19	35	7	0	1	0	0
	百石町市営住宅	230	515	40~60分	30	139	56	13	3	0	0	1
	北竹島町市営住宅1号棟	68	166	40~60分	15	30	30	2	1	0	0	0
	北竹島町市営住宅2号棟											
	潮江第一コミュニティ住宅	26	55	40~60分	10	17	5	1	0	0	0	0
	潮江第二コミュニティ住宅	21	49	40~60分	15	3	13	2	1	0	0	0
	潮江第三コミュニティ住宅	14	29	40~60分	8	12	2	0	0	0	0	0
	高知市上下水道局 ※3	26	61	40~60分	10	14	11	1	0	0	0	0
	高知工業高等学校	66	178	40~60分	20	22	36	3	1	1	0	0
	リヴィエール大高	21	37	30~40分	10	16	4	1	0	0	0	0
	ジョンマンマンション	2	5	40~60分	15	0	1	0	1	0	0	0
	セントラルティーボ枝橋店	38	105	40~60分	20	5	17	9	3	1	0	0
	潮江小学校	251	675	40~60分	30	61	133	29	5	6	0	2
	エルミタージュ天神	1	3	30~40分	2	1	0	0	0	0	0	0
	クリアフジモト	11	32	40~60分	15	8	2	0	1	0	0	0
	バル・ボナール	3	6	40~60分	5	1	2	0	0	0	0	0
	セントヴィレッジ	12	32	40~60分	4	11	0	0	0	0	0	0
	カムリヴ	4	8	40~60分	5	3	1	0	0	0	0	0
	オリザビル	3	7	40~60分	5	2	1	0	0	0	0	0
梅ノ辻クリニック	23	73	40~60分	10	18	4	1	0	0	0	0	
四国銀行 潮江支店	0	0	40~60分	0	0	0	0	0	0	0	0	
津波避難ビル合計	971	2421			421	391	77	17	9	0	3	
自然地形の高台 (避難路)	潮江①	3	6	60分以上	1	3	0	0	0	0	0	0
	潮江②	2	2	40~60分	10	0	1	1	0	0	0	0
	潮江③	2	3	40~60分	1	2	0	0	0	0	0	0
	潮江④	0	0	40~60分	0	0	0	0	0	0	0	0
	潮江⑤	7	22	40~60分	10	4	1	1	0	0	0	0
	潮江⑥	7	23	40~60分	10	4	1	1	0	0	0	0
	潮江⑦	8	25	40~60分	8	4	1	0	0	0	0	0
	潮江⑧~⑩(兼山公園)	78	194	40~60分	20	14	37	16	1	1	0	0
	潮江⑫	20	39	40~60分	10	6	8	3	0	0	0	0
	潮江⑬	6	13	40~60分	10	0	0	6	0	0	0	0
	潮江⑭	12	23	60分以上	15	0	2	8	1	0	0	0
	潮江⑮	9	25	60分以上	10	2	5	1	0	0	0	0
	高台合計	154	375			39	56	37	2	1	0	0

※1 避難時間が未記入のものは記載していないため、避難に要した時間の合計回収枚数が緊急避難場所ごとの合計回収枚数と異なる場合があります。赤字は緊急避難場所ごとに最も避難者が多かった時間帯を示しています。

※2 自然地形の高台の想定津波到達時間は、津波避難路の入口地点のものです。

※3 高知市上下水道局については津波避難ビル指定解除済み(令和8年1月時点)

アンケート結果からは、ほとんどの人が津波到達時間までに避難が完了できていることが確認できました。津波避難ビルに避難者が集中することが想定されるため、体力に余裕がある人は自然地形の高台に向かうなどのルール作りが必要であると考えられます。

第4節 避難行動要支援者の訓練結果

避難行動要支援者についての取組を先行して進めている北高見町内会自主防災組織から、2組の避難行動要支援者を選出し、避難行動について検証を行いました。訓練結果は下表16のとおりです。

表16 避難行動要支援者の訓練結果

	ケース1	ケース2
条件	車いす使用	杖使用
支援者	班内の支援者による	班内の支援者による
緊急避難場所	避難路（潮江⑩）→兼山公園	避難路（潮江⑪）→兼山公園
避難について	想定到達時間（40分～60分）までの避難が完了	



図36 訓練の様子

北高見町内会自主防災組織では、地区内をいくつかのブロックに分割し、ブロック内で支援者の確保を行っています。エリア内で避難行動要支援者を把握することで、一部の支援者への負担軽減や、複数の支援者の確保につながっています。

今回は事前に避難行動要支援者や支援者等に声かけを実施していたことや、避難行動要支援者自身が自力での避難が可能であった点から、より自力避難が困難な方の検証には至りませんでした。自力での避難が困難であるほど平時の訓練の参加率は低いため、そのような方に避難訓練に出てきてもらう仕組みづくりが必要です。また、津波避難経路上には道路が狭く、ブロック塀の倒壊のおそれのある箇所があるため、まち歩き等を行って様々な想定をしておくことが必要です。

第5節 津波避難経路の現地点検

現地点検は、避難の妨げとなる箇所を現地で確認することを目的として実施しました。平成29年度の津波避難計画検証では、第1回ワークショップの意見を反映し、自然地形の高台への津波避難経路を地域住民、市担当者で確認しました。潮江小学校を出発し、潮江⑤入口より筆山へ上り、整備が完了している津波避難路や兼山公園などの緊急避難場所を確認しました。



図37 現地点検マップ

津波避難路の入口付近では揺れによって倒壊するおそれのあるブロック塀や、夜間の避難時に転落のおそれがある水路などを確認しました。



倒壊のおそれのあるブロック塀と転落のおそれがある水路の例

また、自然地形の高台に備蓄倉庫を整備することや、兼山公園や筆山広場などの既存の場所を緊急避難場所として活用できるのではないかという意見も寄せられました



兼山公園と筆山広場

自然地形の高台への津波避難経路の確認に加え、後日、津波避難経路チェックリストを用いて、各自主防災組織・町内会ごとに地域住民が津波避難経路の点検を実施しました。チェックリストで確認した内容は、以下の項目です。

- 道路を塞ぐおそれのある古い住家
- 道路を塞ぐおそれのある危険な塀
- 危険な水路
- 橋
- 要支援者の妨げとなる箇所
- その他の危険箇所

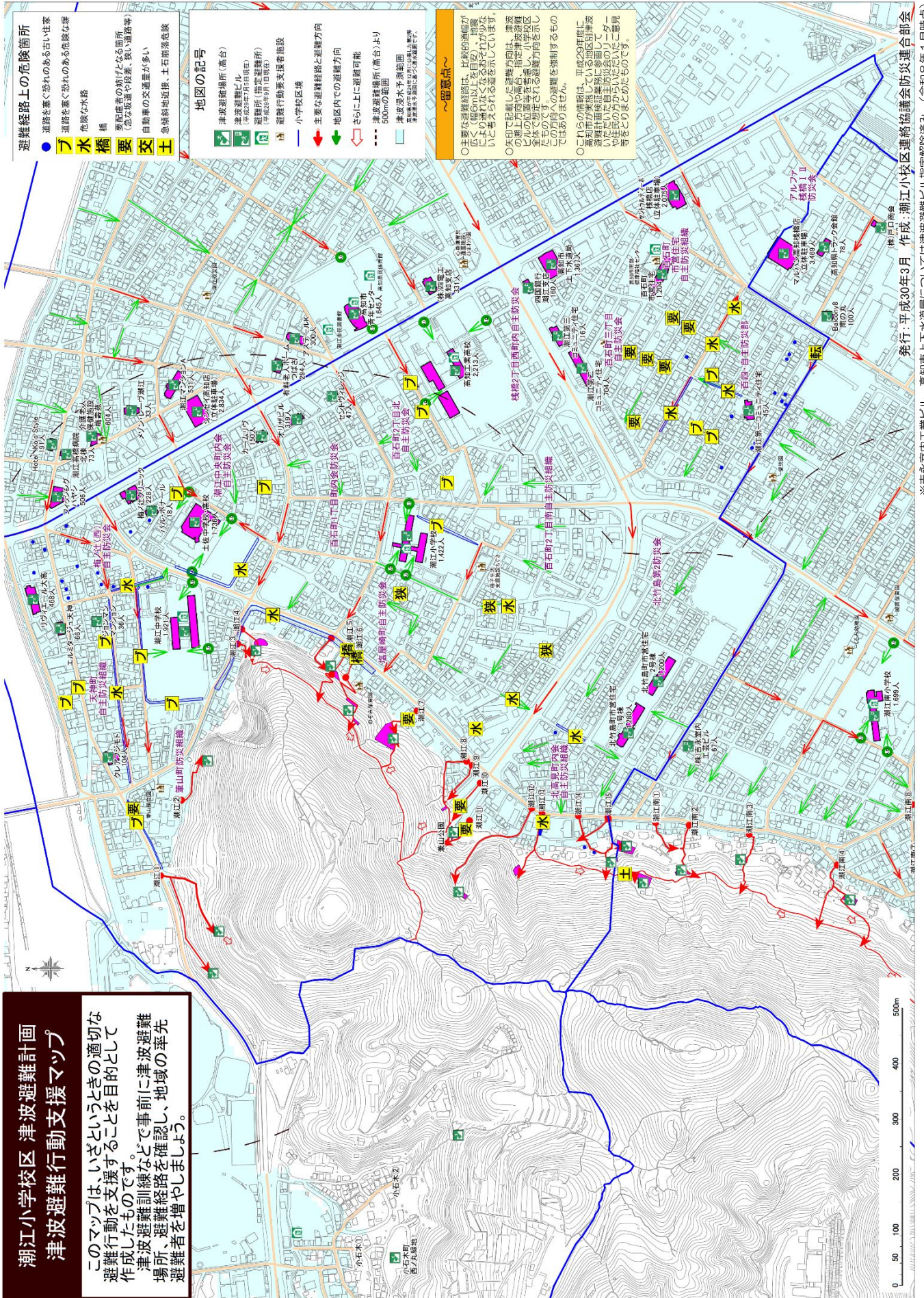
点検結果は「津波避難行動支援マップ」(p.45) に整理しています。



図 38 津波避難経路チェックリスト

潮江小学校校区 津波避難計画 津波避難行動支援マップ

このマップは、いざというときの適切な避難行動を支援することを目的として作成したものです。
津波避難訓練などで事前に津波避難場所、避難経路を確認し、地域の率先避難者を増やしましょう。



避難経路上の危険箇所
 ● 道路を塞ぐ恐れのある古い住家
 ● 道路を塞ぐ恐れのある危険な橋
 ● 橋
 ● 主要な避難経路と避難方向
 ● 地区内での避難方向
 ● さらに上に避難可能
 ● 津波避難場所(高台)より500mの範囲
 ● 津波浸水予測範囲
 ● 津波浸水予測範囲外
 ● 津波浸水予測範囲外(津波浸水予測範囲外)

地図の記号
 ● 津波避難場所(高台)
 ● 津波避難ビル(平成27年7月5日現在)
 ● 避難所(指定避難所)(平成29年9月1日現在)
 ● 避難行動要援者施設
 ● 小学校区境
 ● 主要な避難経路と避難方向
 ● 地区内での避難方向
 ● さらに上に避難可能
 ● 津波避難場所(高台)より500mの範囲
 ● 津波浸水予測範囲
 ● 津波浸水予測範囲外
 ● 津波浸水予測範囲外(津波浸水予測範囲外)

～留意点～
 ○ 主要な避難経路は、比較的通過が広く(幅が広い)を自安)、距離により短縮されるおそれがあるため、この方向への避難を強めるものではありません。
 ○ 上記の情報は、平成29年10月現在に作成されたものであり、津波避難計画に随時更新される場合があります。また、このマップは、避難行動要援者の方からいただいたご意見をとりまとめたものです。

発行：平成30年3月 作成：潮江小学校区連絡協議会防災連合部会
 ※吉永室内工業ビル、高知市上下水道局については津波避難ビル指定解除済み。(令和8年1月時点)

第7章 潮江小学校区の津波避難における課題と取組

第1節 避難行動の課題

潮江小学校区では、多くの緊急避難場所を有効に活用するとともに、長期浸水対策の観点からも極力、津波浸水想定区域外へ避難することが重要となります。

しかし、平成29年度の検証結果から緊急避難場所に偏りが生じ、一部の緊急避難場所に避難者が集中するなどの課題が明らかとなりました。そして、全住民が安全に避難を完了するためには、以下のような解決すべき課題があることがわかりました。

1 緊急避難場所についての課題

- ① 避難訓練の結果、潮江小学校など複数の施設で想定される避難者数が施設の収容可能人数を上回っている。
- ② 自然地形の高台の避難環境（風雨、トイレ対策）が不十分である。
- ③ 津波避難ビルについても資機材（簡易トイレ、ゴムボート等）の置き場がない場合がある。
- ④ 津波避難ビルの入口が分かりづらい施設がある。

2 避難時間についての課題

- ① 津波避難訓練ではほとんどの人が津波到達時間までに避難が完了できていた。津波避難ビルに避難者が集中することが想定されるため、体力がある人は自然地形の高台へ向かうなどのルールが必要ではないか。

3 津波避難経路の課題

- ① 筆山への避難の際に車を利用する人がいることが想定される。
- ② 夜間の避難対策がなされていない。
- ③ 主要な津波避難経路に至る狭い道路は、ブロック塀・建物倒壊による閉塞のおそれがある。
- ④ 蓋のない水路に転落するおそれがある。
- ⑤ 自然地形の高台への津波避難路は道が狭く勾配がきつい箇所もあるため、高齢者や要配慮者（避難行動要支援者）は自然地形の高台へ避難することが難しい。

4 その他の課題

- ① ペットを連れた避難者への対応。
- ② 自主防災組織が未組織の町内会がある。
- ③ 防災訓練等を企画できる率先避難者が少なく、参加者にも偏りがある。
- ④ 避難訓練などで津波避難ビルを活用しづらい。
- ⑤ 要配慮者（避難行動要支援者）の避難対策ができていない地区が多い。
- ⑥ 津波警報等や南海トラフ地震臨時情報等の情報伝達
※ 南海トラフ地震臨時情報については、第9章及び巻末資料をご参照ください。
- ⑦ 津波避難ビル等に孤立した場合の連絡方法
- ⑧ 潮江南小学校区、潮江東小学校区との情報共有や連携が必要である。

第2節 課題の解決に向けた取組

今後は、対策の方向性や、具体的な取組について検討を継続し、課題の解決に取り組めます。

1 自助・共助を主体とした取組

地区内の住民、各自主防災組織、潮江小校区連絡協議会防災連合部会（現在の潮江小校区防災連合会）が主体となって以下のような取組を行い、地域の安全度を高めます。

① 避難開始時間の短縮や避難速度の向上

- ・学習会、防災士の資格取得等を通じた避難意識の向上
- ・防災啓発冊子（「南海トラフ地震に備えちよき」令和2年12月改訂版）等を活用
- ・夜間の避難訓練や自然地形の高台への避難訓練など、様々な状況を想定した避難訓練の実施
- ・避難訓練時に緊急避難場所への入口を確認
- ・非常用持ち出し袋の準備の啓発
- ・事前に町内会ごとの緊急避難場所を決めておく

② 緊急避難場所の環境整備

- ・定期的な草刈りなどによる津波避難経路の整備
- ・地域の緊急避難場所に自主防災組織で防災倉庫や備蓄品を整備

③ 中学校区における情報の共有

潮江地区では、小学校区の範囲を超えた避難行動が想定されています。今後は各校区の津波避難計画書や活動内容についての情報共有を図るとともに、潮江地区全体での避難訓練などについても検討していきます。

④ 日頃からのコミュニティづくり

普段から顔の見える関係を築いておくことで、いざというときにも協力できる体制がとれるようになります。町内会のイベントなど地域で集まる機会を利用しながら、啓発や情報発信を行っていきます。

⑤ 学校との連携

この計画書を基に、地域の学校（潮江小学校、潮江中学校、高知工業高等学校、土佐中・高等学校、土佐塾中学・高等学校）との連携を図り、具体的な活動内容について検討します。生徒や保護者との活動を通じて、地域の率先避難者となる人材の育成を図ります。

⑥ 潮江小学校区の特徴的な取組の継続と発展

・防災フェア

令和2年度で20回目を迎えており、潮江小学校と連携したイベントとして定着しています。防災情報を発信・共有し、地域全体の防災意識を高める貴重な機会として、無理なく継続できる役割分担や、実施内容などについて検討していきます。

・要配慮者（避難行動要支援者）の避難対策

北高見町内会自主防災組織が、高知市内のモデル地区として取組んでおり、平成25年度に個別の避難計画を策定しています。今後はこのような活動を参考として、自主防災組織ごとに対策に取り組めます。

2 公助を主体とした取組

自助・共助の取組に対するサポートや、公共事業による整備等において、地域の実情や要望事項等が反映されるよう、積極的に参画します。

- ① 津波避難行動支援マップの作成・配布
- ② 自主防災組織の結成促進
- ③ 多様な組織（学校、病院、事業所等）との連携をサポート
- ④ 津波避難ビルの指定
- ⑤ 橋梁・堤防等の耐震対策
- ⑥ 液状化対策
- ⑦ 老朽住宅の除却やブロック塀の改修等の補助事業
- ⑧ 津波警報や南海トラフ地震臨時情報等の情報伝達

※南海トラフ地震臨時情報については、第9章及び巻末資料をご参照ください。

- ⑨ 孤立した場合の連絡方法の検討
- ⑩ 既存施設（筆山文化会館等）の活用
- ⑪ 津波避難路、緊急避難場所等の整備
- ⑫ （上記を活用した）防災倉庫や備蓄品の整備

自主防災活動事例集（高知県 平成 29 年 3 月）

高知県内を中心に、特色ある活動や、熱心な取組を継続している自主防災組織の活動事例等を紹介しています。今後の自主防災活動の参考にご活用ください。

高知県 HP : <https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/010201/jisyubo-jirei.html>

潮江小学校区の概況写真

<p>潮江④ 入口</p>  <p>避難者集中のおそれあり</p>	<p>潮江⑦</p>  <p>筆山周辺に見られる石積み</p>
<p>電車通り</p>  <p>ガラス等の落下物に注意</p>	<p>潮江中学校周辺</p>  <p>ブロック塀倒壊のおそれ</p>
<p>開水路</p>  <p>水路にふたがなく夜間の避難時に危険</p>	<p>潮江⑤</p>  <p>緊急避難場所として活用できるのでは</p>

第8章 検討経緯

【年度毎の事業概要】

年度	事業概要
～平成 23 年度	自然地形の高台への津波避難路の選定
平成 24 年度	選定した津波避難路の整備方針を検討（概略設計）
平成 25 年度	津波避難路の実施設計 津波避難ビル指定の取組 地区別津波避難計画の策定
平成 26 年度	津波避難マップの作成 津波避難計画の運用 （津波避難路工事）
平成 27 年度・28 年度	津波避難計画の運用 （津波避難路工事）
平成 29 年度	潮江小学校区津波避難訓練の実施 津波避難経路の現地点検 津波避難計画の改訂

【平成 29 年度の取組】

名称	開催日	開催場所	参加者数
津波避難訓練	平成 29 年 9 月 10 日（日）	潮江小学校区	1,828 名
第 1 回ワークショップ	平成 29 年 11 月 1 日（水）	潮江小学校 生涯学習室	17 名
第 2 回ワークショップ （現地点検）	平成 29 年 12 月 3 日（日）	潮江小学校区内	10 名
第 3 回ワークショップ	平成 30 年 2 月 2 日（金）	潮江小学校 生涯学習室	13 名

（※避難訓練参加者数はアンケートの家族構成の人数の合計）

第9章 南海トラフ地震臨時情報発表時における事前避難

南海トラフ沿いで異常な現象が観測された場合など、南海トラフ地震の発生の可能性が高まった場合等に、気象庁から「南海トラフ地震臨時情報」が発表されます。発表時には、発生するおそれのある地震に備え、津波浸水想定区域外の知り合いや親戚宅への自主的な事前避難や日頃の備えの再確認など、住民それぞれの日常生活を考慮した行動が必要です。

南海トラフ地震臨時情報の詳細については、巻末資料をご参照ください。

表 17 南海トラフ地震に関する情報

		発表基準	発表後とるべき行動	市民への情報伝達
南海トラフ地震発生時に発表される情報 (津波に関する警報・注意報)	津波注意報	津波による災害の発生が予想される場合 予想される津波の高さ： 1m (20cm<高さ≤1m)	海の中にいる人は、直ちに海から上がって海岸から離れる。津波注意報が解除されるまで、海に入ったり海岸に近づいたりしない。	<ul style="list-style-type: none"> 防災行政無線 緊急速報メール 広報車 ホームページ、SNS 等による警報・注意報の伝達・周知
	津波警報	津波による災害の発生が予想される場合 予想される津波の高さ： 3m (1m<高さ≤3m)	沿岸部や川沿いにいる人は、直ちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難する。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れない。	
	大津波警報	津波による災害の発生が予想される場合 予想される津波の高さ： 5m (3m<高さ≤5m) 10m (5m<高さ≤10m) 10m超 (10m<高さ)		
南海トラフ地震の可能性が高まった場合に発表される情報	南海トラフ地震臨時情報 (巨大地震注意)	巨大地震の発生に注意が必要な場合	各々の日常生活を考慮し、自主的な事前避難または日頃の備えの確認を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 防災行政無線、緊急速報メール、広報車、ホームページ、SNS 等による伝達・周知 日頃の備えの再確認を呼びかけ 自主避難の啓発(※)
	南海トラフ地震臨時情報 (巨大地震警戒)	巨大地震の発生に警戒が必要な場合		

※後発地震やそれに伴う津波に備えるために、津波到達時間が短く、地震発生後の避難では間に合わないおそれのある居住者、耐震性の不足する住宅の居住者及び斜面崩壊のおそれがある範囲の居住者に対し、親類や知人宅等への避難を基本とした自主避難の啓発を行う。

巻末資料

- ①潮江地区 緊急避難場所一覧
- ②津波避難経路 現地点検のポイント
- ③平成 29 年度津波避難計画検証関連資料
- ④臨時情報について
- ⑤潮江小学校区津波避難行動支援マップ
(平成 27 年度作成)

① 潮江地区 緊急避難場所一覽

緊急避難場所（自然地形の高台）一覽

潮江小学校区：緊急避難場所（自然地形の高台）一覧（1/3）

名称	入口	緊急避難場所	避難場所の状況	整備済みの 津波避難路の状況
潮江①			筆山ハイキングコース 様子を伺いながら、必要 に応じて頂上方面に避難。	整備済み（平成 26 年度） 
	緊急避難場所の標高：15.0m			
潮江②			山腹の平坦地	整備済み（平成 23 年度） 
	緊急避難場所の標高：21.8m			
潮江③			墓地	整備済み（平成 26 年度） 
	緊急避難場所の標高：17.3m			
潮江④			墓地	整備済み（平成 26 年度） 
	緊急避難場所の標高：17.3m			
潮江⑤			畑地	整備済み（平成 26 年度） 
	緊急避難場所の標高：12.4m			
潮江⑥			山腹の平坦地	整備済み（平成 26 年度） 
	緊急避難場所の標高：30.0m			
潮江⑦			墓地	
	緊急避難場所の標高：13.5m			

潮江小学校区：緊急避難場所（自然地形の高台）一覧（2/3）

名称	入口	緊急避難場所	避難場所の状況	整備済みの 津波避難路の状況
潮江⑧			筆山トンネル上の広場 兼山公園にもつながっている	整備済み（平成 25 年度） 
	緊急避難場所の標高：11.9m			
潮江⑨			兼山公園	
	緊急避難場所の標高：11.5m			
潮江⑩			兼山公園	
	緊急避難場所の標高：11.5m			
潮江⑪			兼山公園	
	緊急避難場所の標高：11.5m			
潮江⑫			工業用水道施設	整備済み（平成 25 年度） 
	緊急避難場所の標高：42.9m			
潮江⑬			宝蔵寺跡	整備済み（平成 25 年度） 
	緊急避難場所の標高：35.1m			
潮江⑭			高視朝臣邸跡 塩の道、宝蔵寺跡にもつながっている	整備済み（平成 25 年度） 
	緊急避難場所の標高：15.0m			

潮江小学校区：緊急避難場所（自然地形の高台）一覧（3/3）

名称	入口	緊急避難場所	避難場所の状況	整備済みの 津波避難路の状況
潮江 ⑮			はとがさきハイツの敷 地内	
	緊急避難場所の標高：10.0m			

潮江南小学校区：緊急避難場所（自然地形の高台）一覧（1/4）

名称	入口	緊急避難場所	避難場所の状況	整備済みの津波避難路の状況
潮江南①			砂防堰堤前面の広場 避難場所周辺は、谷地形 で出水が著しく、過去に 土砂崩壊が発生している	入口に 20cm 程度の段差 があり、注意が必要 
	緊急避難場所の標高：21.8m			
潮江南②			潮江南①と共通	整備済み（平成 25 年度） 
	緊急避難場所の標高：21.8m			
潮江南③			畑地	整備済み（平成 27 年度） 
	緊急避難場所の標高：15.4m			
潮江南④			畑地	整備済み（平成 27 年度） 直線ルートは勾配が急で ある 南西ルートは勾配は緩やか だが、石積みの崩壊など に注意が必要
	緊急避難場所の標高：12.5m			
潮江南⑤			市道、畑地 潮江南⑤～⑦は共通	車を使った避難が想定さ れるため、事前のルール づくりが必要
	緊急避難場所の標高：26.0m			
潮江南⑥			市道、畑地 潮江南⑤～⑦は共通	整備済み（平成 26 年度） 
	緊急避難場所の標高：19.3m			
潮江南⑦			市道、畑地 潮江南⑤～⑦は共通 車を使った避難が想定 されるため、事前のル ールづくりが必要	整備済み（平成 27 年度） 
	緊急避難場所の標高：26.0m			

潮江南小学校区：緊急避難場所（自然地形の高台）一覧（2/4）

名称	入口	緊急避難場所	避難場所の状況	整備済みの 津波避難路の状況
潮江南⑧			畑地 過去に土砂災害の被災履歴があるので、注意が必要	整備済み（平成27年度） 
	緊急避難場所の標高：25.5m			
潮江南⑨			くるみ幼稚園のプール 過去に土砂災害の被災履歴があるので、注意が必要	整備済み（平成27年度） 
	緊急避難場所の標高：25.4m			
潮江南⑩			高知桂浜道路 法面部	
	緊急避難場所の標高：40.0m			
潮江南⑪			畑地 潮江南⑫と共通	勾配が急 石積みの崩壊や、坂路のひび割れあり
	緊急避難場所の標高：29.5m			
潮江南⑫			畑地 潮江南⑪と共通	勾配が急 石積みの崩壊や、坂路のひび割れあり
	緊急避難場所の標高：29.5m			
潮江南⑬			高知桂浜道路	
	緊急避難場所の標高：18.5m			
潮江南⑭			ホテル山水	
	緊急避難場所の標高：20.0m			

潮江南小学校区：緊急避難場所（自然地形の高台）一覧（3/4）

名称	入口	緊急避難場所	避難場所の状況	整備済みの 津波避難路の状況
潮江南 ⑮			畑地	
	緊急避難場所の標高：20.6m			
潮江南 ⑯			砂防堰堤前面の広場	ブロック塀倒壊のおそれあり 大山祇神社から幅員が狭くなっている
	緊急避難場所の標高：17.6m			
潮江南 ⑰			駐車場 鷲尾山方面へのハイキングコースに続いているので、さらに上へ避難可能	
	緊急避難場所の標高：15.8m			
潮江南 ⑱			急傾斜対策施設前面の広場	ブロック塀・古い家屋が多く、倒壊による閉塞のおそれあり
	緊急避難場所の標高：18.1m			
潮江南 ⑲			観音寺の駐車場	部分的に、勾配が急な箇所あり
	緊急避難場所の標高：18.2m			
潮江南 ⑳			個人宅 さらに上へ舗装路（私道）が続いているので 海拔 20m 以上へ避難可能	車を使った避難が想定されるため、事前のルールづくりが必要
	緊急避難場所の標高：10.6m			
潮江南 ㉑			休耕地	
	緊急避難場所の標高：15.5m			

潮江南小学校区：緊急避難場所（自然地形の高台）一覽（4/4）

名称	入口	緊急避難場所	避難場所の状況	整備済みの 津波避難路の状況
潮江南 ㉒			墓地、休耕地	整備済み（平成 26 年度） 
	緊急避難場所の標高：20.0m			
潮江南 ㉓			大海津見神社 境内	整備済み（平成 27 年度） 
	緊急避難場所の標高：24.0m			

津波避難ビル一覧

高知市では地域防災推進課のホームページで津波避難ビルの個票を公開しています。個票には施設の概要や施設側からの注意事項、津波避難ビルへの進入方法や避難する場所などの情報が記載されています。日頃から、近隣の津波避難ビルの情報を確認しておきましょう。

【津波避難ビル一覧】

高知市 HP : <https://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/12/tunamihinannbiru.html>

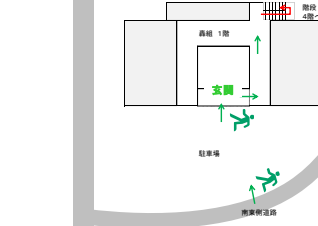
潮江東小学校区：津波避難ビル一覧（1/4）

番号	施設名	構造・階層	避難場所 (収容可能人数)	備考 (入口の状況等)
潮江東 2	ステラ棧橋 	鉄筋コンクリート造 8階建	屋上、3階以上廊下 (居住スペースを除く) (302人)	
潮江東 3	潮江東小学校 (指定避難所) 	鉄筋コンクリート造 3階建	北舎及び南舎屋上 (921人)	
潮江東 4	高知市青年センター (アスパルこうち) (指定避難所) 	鉄筋コンクリート造 7階建	4階以上 (4階あったか スペースを除く) (1,645人)	
潮江東 5	潮江水再生 センター(管理棟) (指定避難所) 	鉄筋コンクリート造 3階建	3階会議室(監視 操作室を除く)、 屋上 (830人)	
潮江東 6	(株)四電工高知支店 	鉄骨造 4階建	4階廊下等共用 スペース及び屋上 (331人)	
潮江東 7	Nikko 高知店 (立体駐車場) 	鉄骨造 4階建	4階以上 (2,834人)	


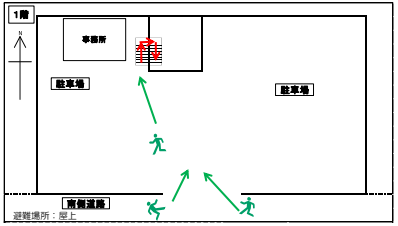
潮江東小学校区：津波避難ビル一覧（2/4）

番号	施設名	構造・階層	避難場所 (収容可能人数)	備考 (入口の状況等)
潮江東 8	アステールK 	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造 7階建	4～7階廊下 (300人)	
潮江東 9	旧高知南中学・ 高等学校 (指定避難所) 	鉄骨鉄筋 ｺﾝｸﾘｰﾄ造 4階建	北舎4階及び 屋上、南舎4階 (2,366人)	
潮江東 10	フィッシングハヤシ 	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造 5階建	4階通路及び事務 所、5階通路及び バルコニー (506人)	
潮江東 11	有料老人ホーム つばさ 	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造 4階建	4階エレベーター ホール、3階屋上 (294人)	
潮江東 12	介護老人保健施設 梅壽苑 	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造 7階建	4階及び5階： 廊下及びバルコニー 6階：廊下、バル コニー及び脱衣室 7階：廊下、会議 室及び屋上 (604人)	
潮江東 13	潮江高橋病院 北棟 	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造 (一部鉄骨造) 6階建	6階：職員食堂 及び休憩室 (73人)	

潮江東小学校区：津波避難ビル一覧（3/4）

番号	施設名	構造・階層	避難場所 (収容可能人数)	備考 (入口の状況等)
潮江東 14	Hotel Ko's Style 	鉄筋コンクリート造 6階建	4階及び5階：廊下、 バルコニー及びエレベーターホール 6階：屋外テラス、 バルコニー及びエレベーターホール (191人)	
潮江東 15	メゾン・レーヴ潮江 	鉄骨造 4階建	4階廊下 (33人)	
潮江東 16	潮江マンションA 	鉄骨鉄筋 コンクリート造 10階建	4階以上廊下及びエレベーターホール (531人)	
潮江東 17	ポートハイム28 	鉄骨鉄筋 コンクリート造 9階建	4階以上廊下及びエレベーターホール (164人)	
潮江東 18	(株) 轟組 	鉄筋コンクリート造 4階建	4階ホール、和室及びテラス (599人)	
潮江東 19	高知港湾合同庁舎 	鉄筋コンクリート造 3階建	屋上一部 (125人)	
潮江東 20	潮江市民図書館 	鉄筋コンクリート造 4階建	4階：プレイルーム 和室、廊下、ベランダ 屋上 (424人)	

潮江東小学校区：津波避難ビル一覧（4/4）

番号	施設名	構造・階層	避難場所 (収容可能人数)	備考 (入口の状況等)
潮江東 21	トランスポート 避難ビル 	鉄骨造 2階建	2階屋上 (126人)	

潮江小学校区：津波避難ビル一覧（1/4）

番号	施設名	構造・階層	避難場所 (収容可能人数)	備考 (入口の状況等)
潮江 1	土佐中・高等学校 	鉄筋コンクリート造 3階建	体育館棟アリーナ (1,736人)	
潮江 2	潮江中学校 (指定避難所) 	鉄筋コンクリート造 4階建	校舎4階及び屋上 (1,921人)	
潮江 3	百石町市営住宅 	鉄筋コンクリート造 10階建	4階以上廊下、 エレベーターホール (居住スペースを 除く) (1,204人)	
潮江 4	北竹島町 市営住宅1号棟 	鉄筋コンクリート造 11階建	4階以上廊下、 エレベーターホール (居住スペースを 除く) (1,280人)	
潮江 5	北竹島町 市営住宅2号棟 	鉄筋コンクリート造 11階建	4階以上廊下、 エレベーターホール (居住スペースを 除く) (1,200人)	
潮江 6	潮江第一 コミュニティ住宅 	鉄筋コンクリート造 4階建	4階廊下 (居住スペースを 除く) (45人)	


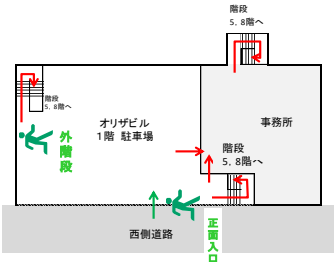

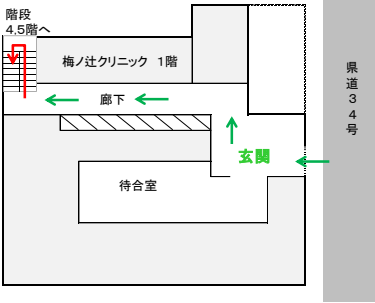

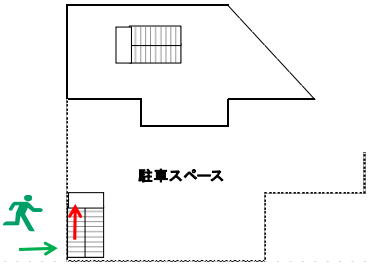

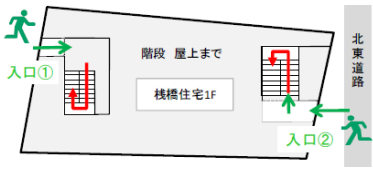

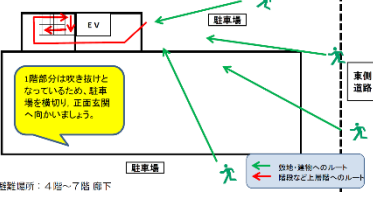
潮江小学校区：津波避難ビル一覧（2/4）

番号	施設名	構造・階層	避難場所 (収容可能人数)	備考 (入口の状況等)
潮江 7	潮江第二 コミュニティ住宅 	鉄筋コンクリート造 7階建	4階以上廊下、 バルコニー、コミ ュニティスペース (居住スペースを 除く) (704人)	
潮江 8	潮江第三 コミュニティ住宅 	鉄筋コンクリート造 5階建	4階以上廊下 (居住スペースを 除く) (116人)	
潮江 10	高知工業高等学校 (指定避難所) 	鉄筋コンクリート造 4階建	1号館、2号館 及び3号館の4階 教室及び廊下、 2号館屋上 (2,213人)	
潮江 11	リヴィエール大高 	鉄筋コンクリート造 8階建	4～8階廊下 及び屋上 (468人)	
潮江 12	ジョンマンマンション 	鉄筋コンクリート造 6階建	4階以上廊下等 共用スペース (居住スペース を除く) (36人)	
潮江 13	セントラル ディーボ棧橋店 (立体駐車場) 	鉄骨造 5階建	立体駐車場 4階以上 (2,075人)	

潮江小学校区：津波避難ビル一覧（3/4）

番号	施設名	構造・階層	避難場所 (収容可能人数)	備考 (入口の状況等)
潮江 14	潮江小学校 (指定避難所) 	鉄筋コンクリート造 3階建	中舎及び南舎屋上 (1,422人)	
潮江 15	エルミタージュ天神 	鉄筋コンクリート造 6階建	4階以上廊下 (66人)	
潮江 16	クリアフジモト 	鉄骨鉄筋 コンクリート造 8階建	4階以上廊下 (104人)	
潮江 17	パル・ボナール 	鉄筋コンクリート造 4階建	4階廊下 (18人)	
潮江 18	セントヴィレッジ 	鉄筋コンクリート造 7階建	4階以上廊下 (47人)	
潮江 19	カームリヴ 	鉄骨鉄筋 コンクリート造 8階建	4階以上廊下 (150人)	


潮江小学校区：津波避難ビル一覧（4/4）

番号	施設名	構造・階層	避難場所 (収容可能人数)	備考 (入口の状況等)
潮江 20	オリザビル 	鉄筋コンクリート造 8階建	5階：廊下、 エレベーターホール、 休憩室、デイルーム 8階：屋上庭園 (319人)	
潮江 21	梅ノ辻クリニック 	鉄骨造 5階建	4階：エレベーター ホール、パワー リハビリテーショ ン室、バルコニー 5階：廊下、エレ ベーターホール、 会議室、医局 (228人)	
潮江 22	四国銀行 潮江支店 	鉄筋コンクリート造 3階建	2階屋上及び 3階屋上 (160人)	
潮江 23	棧橋住宅 	鉄骨鉄筋 コンクリート造 (一部鉄筋コンクリート造) 10階建	屋上 (249人)	
潮江 24	ライフ 	鉄筋コンクリート造 7階建	4階～7階廊下 (84人)	

潮江南小学校区：津波避難ビル一覧（1/2）

番号	施設名	構造・階層	避難場所 (収容可能人数)	備考 (入口の状況等)
潮江南 1	潮江南小学校 (指定避難所) 	鉄筋コンクリート造 4階建	北舎4階及び屋上 南舎屋上 (コンピュータ室を除く) (1,699人)	
潮江南 2	高知河川国道事務所 	鉄筋コンクリート造 4階建	4階大会議室 (50人)	
潮江南 4	第2六泉寺ビル 	鉄筋コンクリート造 4階建	4階廊下 (45人)	
潮江南 5	新高産業社屋 	鉄骨造 4階建	事務所棟及び 工場棟屋上 (485人)	
潮江南 6	マルハン高知棧橋店 (立体駐車場) 	鉄骨造 4階建	立体駐車場 (4階及び屋上) (3,469人)	

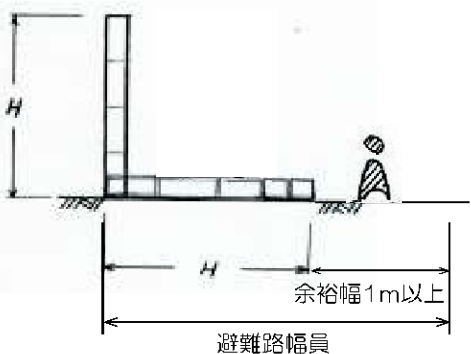

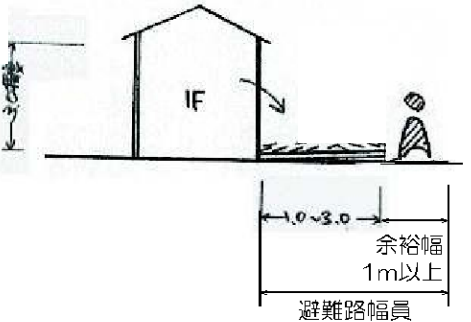

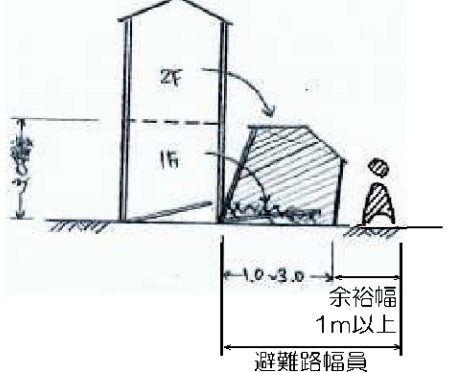

潮江南小学校区：津波避難ビル一覧（2/2）

番号	施設名	構造・階層	避難場所 (収容可能人数)	備考 (入口の状況等)
潮江南 7	高知県トラック会館 	鉄筋コンクリート造 4階建	屋上 (78人)	
潮江南 9	Balcony8 南の丸 	鉄筋コンクリート造 8階建	4階以上廊下 (100人)	

② 津波避難経路 現地点検のポイント

■ブロック塀や建物の倒壊による道路閉塞のイメージ

建物などの倒壊による閉塞状況を想定して、現地点検を行います。

項目	模式図	参考事例
ブロック塀		
新耐震以前の建物	<p>平屋建て</p> 	
	<p>2階建て</p> 	

漁港における津波対策基本方針（高知県 平成 17 年 3 月）を基に作成

■道路を防ぐおそれのある古い住家

現行の耐震基準が導入された昭和56年以前に建築された住家・建築物は、揺れによる倒壊のおそれがあるものと考えます。

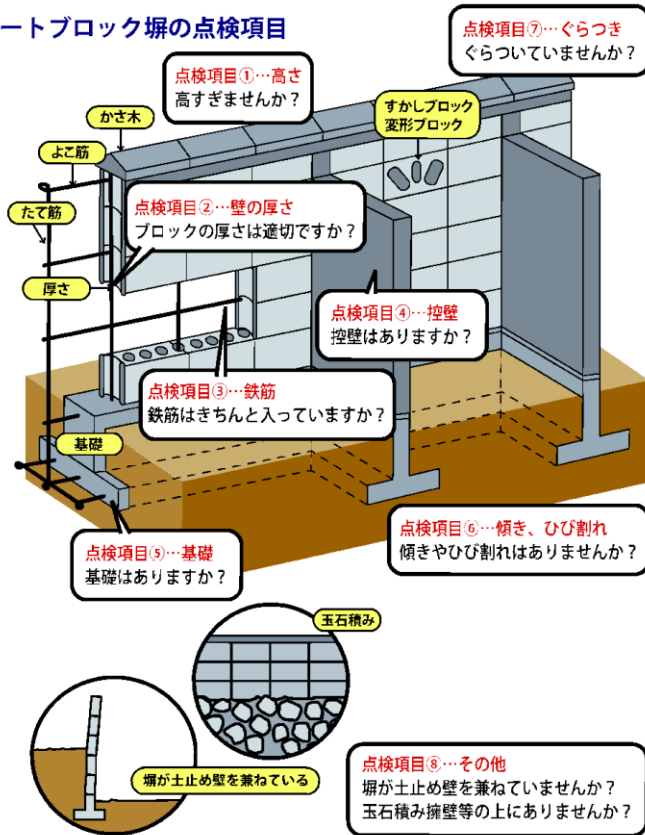
以下の写真は、不動産の情報等から参考として記載したものです。現地では構造や建材等から目視で判断します。

昭和56年以前	昭和56年以降
	
昭和51年(築40年)	平成14年(築14年)
	
昭和47年(築44年)	平成2年(築26年)
	
昭和51年(築40年)	平成6年(築22年)
	
昭和25年(築66年)	平成5年(築23年)

■道路を塞ぐおそれのある危険な塀

ブロック塀の高さ、厚さ、透かし、控壁の有無などを確認し、基準を満たさないものは倒壊のおそれがあるものと考えます。

■コンクリートブロック塀の点検項目



	点検項目	点検内容	点検結果	
			適合	不適合
1	高さ	2.2m以下	はい	いいえ
2	壁の厚さ	高さ2mを超える塀で15cm以上	はい	いいえ
		高さ2m以下の塀で10cm以上	はい	いいえ
3	鉄筋	壁頂、基礎には横に、壁の端部及び隅角部には縦に、それぞれ径9mm以上の鉄筋が入っている	はい	いいえ
		壁内に径9mm以上の鉄筋が縦横80cm以内に入っている	はい	いいえ
4	控壁 (高さが1.2mを超える塀の場合)	3.4m以内ごとに、鉄筋が入った控壁が塀の高さの1/5以上突出してある	はい	いいえ
5	基礎	丈が35cm以上で根入れ深さが30cm以上の鉄筋コンクリート造の基礎がある	はい	いいえ
6	傾き、ひび割れ	全体的に傾いていない、又は1mm以上のひび割れがない	はい	いいえ
7	ぐらつき	人の力でぐらつかない	はい	いいえ
8	その他	壁が土止め壁を兼ねていない、又は玉石積み擁壁等の上にはない	はい	いいえ

(出典：高知県土木部建築指導課・住宅課)

避難経路点検の実施について

それぞれの地区で利用する津波避難経路に、避難の妨げとなる場所がないか確認します。

点検項目

- 点検実施日と当日の天気、開催時刻と参加人数を記入します。

【例】

自主防災会/町内会名	天神町自主防災組織
実施日	平成 29 年 1 月 18 日(木)
天気	晴れ
開催時刻	午前 午後 10 時 00 分頃
参加人数	3 人

- 下記の表の6項目に該当する箇所を地図に書き込みます。

記入項目	
⊗	道路を防ぐ恐れのある古い住家
—	道路を防ぐ恐れのある危険な塀
.....	危険な水路
□	橋
△	要配慮者の妨げとなる場所
×	その他の危険

※ **要配慮者の妨げとなる場所**
→急な坂道や段差など

※ **その他の危険**
→夜間の避難が困難な箇所や倒木の恐れがある箇所等

- 上記の6項目以外にも避難の妨げとなる恐れがある箇所は、地図に記入をお願いします。
- 主要な避難経路で、道路幅員が狭い箇所などを重点的に点検します。

【例】



③ 平成 29 年度津波避難計画検証関連資料

【津波避難計画検証 実施状況】

■平成 29 年 9 月 10 日 潮江小学校区 津波避難訓練



■平成 29 年 11 月 1 日 第 1 回ワークショップ



■平成 29 年 12 月 3 日 第2回ワークショップ（現地点検）



■平成 30 年 2 月 2 日 第3回ワークショップ







■平成 30 年 3 月 6 日 役員会（津波避難計画書報告）



潮江小学校区 津波避難に関するアンケート（記入用紙）

1

！裏面もご記入をお願いします。

- ①在宅時に南海トラフ地震が起きた場合を想定して、ご自宅から緊急避難場所（ または ）までの道をマーカーなどの太いペンでご記入ください。
 ②緊急避難場所（ または ）を複数決めている方は○をしてください。



凡例

	主要な避難経路
	小学校区界
	高台への避難路（○は避難路番号）
	バス停
	目印となる施設
	緊急避難場所
	津波避難ビル
	自然地形の高台

(1) 避難訓練の結果

町内会(自主防災組織)名 _____

住所 高知市

◆家族構成を下の表に記入してください。

	～19歳	20～39歳	40～64歳	65～74歳	75歳～
男	人	人	人	人	人
女	人	人	人	人	人

◆家を出てから緊急避難場所のふもとや入り口までかかった時間
 (複数名で避難した場合は最長の時間) 分

(2) 緊急避難場所について

①災害時の緊急避難場所を事前に決めていますか。
 はい いいえ

↳ ②「はい」と答えた方のみお答えください。
 緊急避難場所は複数決めていますか。
 はい いいえ


↳ ※場所を表の地図に○で書いてください。


③どのような理由で緊急避難場所を決めていますか。
 (複数回答可)

自宅からの距離が近いから
 緊急避難場所と指定避難所を兼ねているから
 防災マップで確認したから
 地域で取り決めたから
 津波避難誘導標識を見たから
 その他()

(3) 長期浸水について

◆潮江地区では長期浸水が起こることが想定されています。
 あなたはこのことについてご存知ですか。
 はい いいえ

 「長期浸水」とは、..
 地震が発生すると地盤の変動により、標高の低い土地が海面より低くなり長期にわたって浸水するおそれがあります。これが「長期浸水」です。

水が引かないよー 
 (五台山から撮影した昭和南海地震後の高知市街)

(4) 避難経路について

◆避難をしてくる途中で気になった場所を教えてください。
 (複数回答可)

橋 家屋
 ブロック塀 電柱
 街路樹 山の斜面
 照明や誘導灯 その他()

(5) その他お気づきの点がありましたら、お書きください。

表面へ →

④ 臨時情報について

資料： 臨時情報について

1 南海トラフ地震臨時情報

(1) 南海トラフ地震臨時情報とは

「南海トラフ地震臨時情報」（以下、臨時情報）は、南海トラフ地震の想定震源域又はその周辺でM6.8以上の地震が発生した場合や南海トラフ地震の想定震源域のプレート境界面で通常とは異なるゆっくりすべりが発生した場合に、それらに対する調査開始の旨、そして、有識者からなる「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」において調査した結果、地震発生の可能性が相対的に高まっていると評価された場合等に、気象庁から発表される情報です。



(参照：海上保安庁海洋情報部と中央防災会議資料をもとに高知大学総合研究センター改変)

図 南海トラフ地震の想定震源域

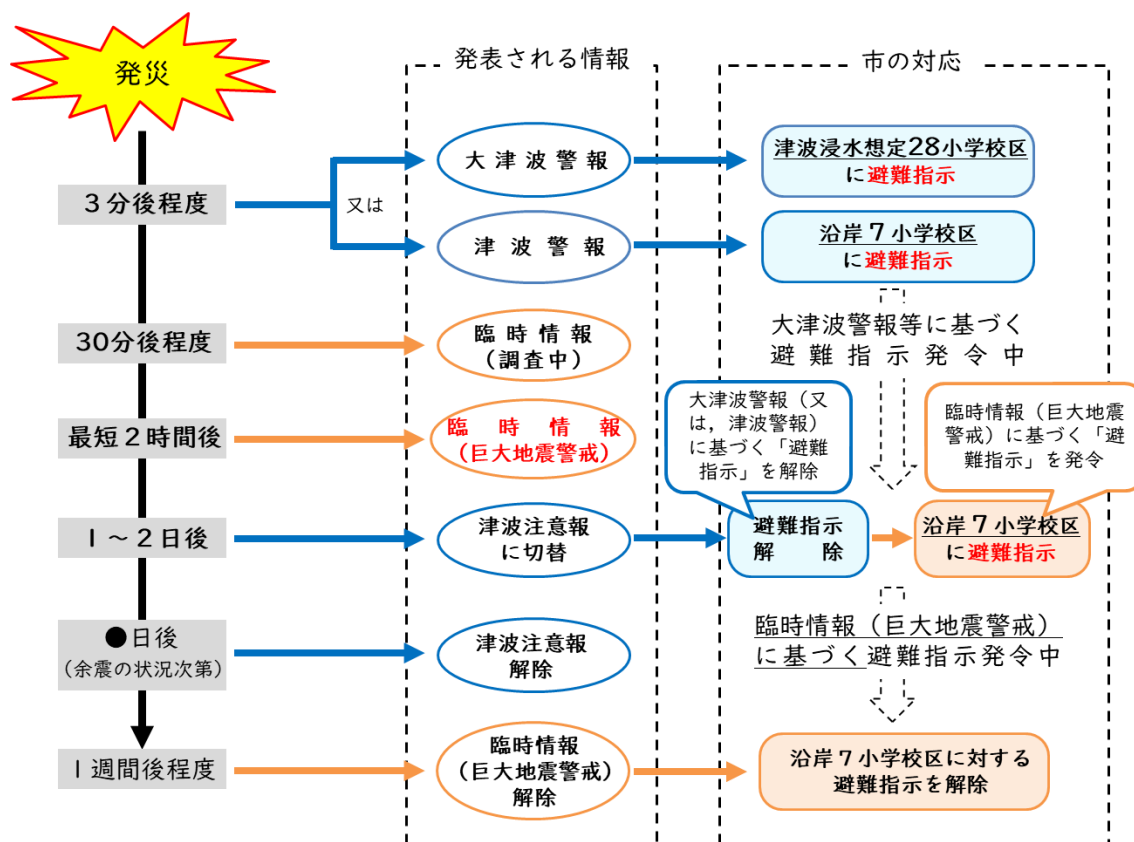
異常な現象の発生後、5～30分程度で調査の開始を知らせる「南海トラフ地震臨時情報（調査中）」が発表されます。この調査の結果は、異常な現象の発生後2時間程度で改めて臨時情報として発表されます。

各情報（調査結果）の内容及び発表後の防災対応の詳細については、次頁（表 臨時情報の発表と防災対応の内容）を参照ください。

表 臨時情報の発表と防災対応の内容

情報名	発表の条件	防災対応
南海トラフ地震 臨時情報 (<u>巨大地震警戒</u>)	巨大地震の発生に警戒が必要な場合 ※ 南海トラフ沿いの想定震源域のプレート境界において、Mw8.0以上の地震が発生したと評価された場合	【巨大地震警戒対応】 ・日頃からの地震の備えを再確認する ・津波からの避難が間に合わない一部の地域（事前避難対象地域）では引き続き1週間避難を継続 ※ 1週間で「巨大地震注意対応」に引き下げられる。
南海トラフ地震 臨時情報 (<u>巨大地震注意</u>)	巨大地震の発生に注意が必要な場合 ※ 南海トラフ沿いの想定震源域のプレート境界において、 ・Mw7.0以上の地震（巨大地震警戒に該当する場合を除く）（※1） ・通常と異なるゆっくりすべり（※2）が発生したと評価された場合等	【巨大地震注意対応】 ・日頃からの地震の備えを再確認する ※ 1週間程度で解除される。 ただし、大規模地震が起きる可能性がなくなったわけではないことに留意。
南海トラフ地震 臨時情報 (<u>調査終了</u>)	(巨大地震警戒)、(巨大地震注意)のいずれにも当てはまらない現象と評価された場合	通常の生活。ただし、大規模地震が起きる可能性がなくなったわけではないことに留意。

※1 想定震源域、またはその周辺で Mw7.0 以上の地震が発生（ただし、プレート境界の Mw8.0 以上の地震を除く）
 ※2 住民が揺れを感じる事が無い、プレート境界面のゆっくりしたずれによる地殻変動を観測した場合など



青色：東側で発生した地震に関連した情報及び対応
 橙色：西側で発生するおそれのある後発地震に関連した情報及び対応

図 南海トラフの東側でMw8.0以上の地震が発生した場合（半割れケース）の対応フロー

2 臨時情報発表時の避難行動

(1) 臨時情報発表時の避難行動の考え方

地震や津波からの避難対策は、基本その場での突発的な対応が基本になりますが、高知市では、より安全に避難を行うための手段として、臨時情報を活用して事前避難対象地域に対する避難指示の発令のほか、日頃からの地震への備えの再確認や、自主的な避難の呼びかけなどの防災対応を実施します。

① 事前避難対象地域

30cm以上の津波浸水が地震発生から30分以内に生じる地域について、当該地域を事前避難対象地域として設定し、巨大地震警戒対応時には当該地域に居住している方等を対象に、避難指示を発令します。

高知市の事前避難対象地域は、次のとおりです。

【事前避難対象地域】※ 以下7地区のうち、()内に記載の全部、または一部の地域

- ・ 浦戸小学校区（浦戸）
- ・ 長浜小学校区（長浜、御豊瀬）
- ・ 横浜小学校区（横浜、瀬戸東町1丁目、瀬戸東町2丁目、横浜西町、横浜東町、瀬戸1丁目、瀬戸2丁目）
- ・ 三里小学校区（種崎、仁井田）
- ・ 十津小学校区（十津2丁目、十津5丁目、十津6丁目、仁井田）
- ・ 春野東小学校区（東諸木、甲殿）
- ・ 春野西小学校区（仁ノ、西畑）

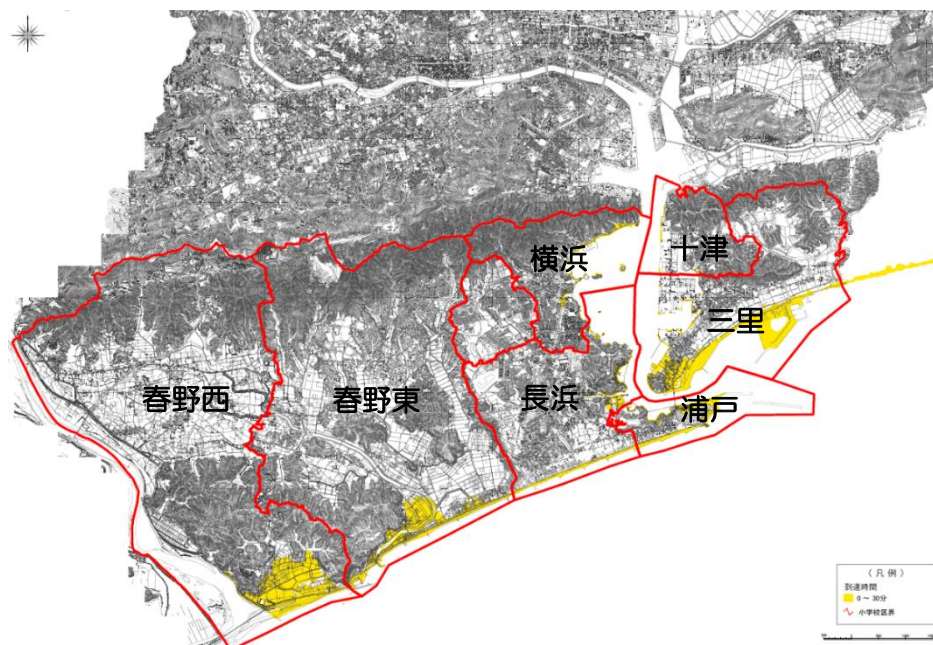


図 高知市の事前避難対象地域（黄色箇所）

事前避難対象地域に居住している方だけでなく、その周辺の方についても、それぞれの状況を考慮し、地震発生後の避難では間に合わないおそれがあると判断した場合、浸水想定区域外の親類や知人宅を基本とした自主避難をしていただくことが必要です。

② 自主的な避難を呼びかける地域

避難指示を発令する事前避難対象地域以外にお住まいの一部の方について、親類や知人宅を基本とした自主避難を呼びかけます。

自主的な避難の呼びかけを行う対象は、次のとおりです。

- **津波到達時間が短く地震発生後の避難では間に合わないおそれのある居住者**

事前避難対象地域に加えて、各人の状況により、地震発生後の避難では間に合わないおそれがある居住者を対象に、自主避難を呼びかけます。

- **耐震性の不足する住宅にお住まいの方**

地震の揺れで倒壊する可能性が高く、避難が困難になることから、臨時情報発表時には、自主的な事前避難を呼びかけます。

- **斜面崩壊のおそれがある範囲にお住まいの方**

地震による土砂災害が発生する可能性が高い範囲として、「土砂災害警戒区域」の斜面際からの距離がおおむね 10m の範囲内に居住されている方を対象に自主的な事前避難を呼びかけます。

臨時情報は地震発生の可能性の高まりを知らせるものであるため、地震発生可能性と防災対応の実施による日常生活・企業活動への影響のバランスを考えつつ、それぞれがより安全な行動を選択することが必要です。

3 開設される避難所について

臨時情報発表時開設される避難所は、命や財産の安全を最大限図るために設けられる「一般基準」、または、日常生活などを可能な限り阻害しないために設けられる「特別基準」を満たした施設の中から選定し開設します。

これらの基準は、臨時情報（巨大地震警戒）が発表された際の最初の地震発生から1週間程度の間に開設される避難所に適用されます。1週間以降2週間経過まで、もしくは臨時情報（巨大地震注意）が発表された際には、親類や知人宅への避難が基本になります。

(1) 一般基準

命や財産の安全を最大限図るため、地震が発生した場合にも一定の安全が確保できる施設を選定する基準が「一般基準」です。一般基準によって選定される避難所は、以下のすべての条件を満たしている施設です。

避難所選定基準【一般基準】

- ・ 津波浸水想定区域外であること
- ・ 土砂災害警戒区域外であること
- ・ 耐震性を備えていること
- ・ 一定の駐車スペースがあること

表 一般基準を満たしている避難所

No	大街	名称	所在地	収容面積 (㎡)	収容可能人数 (1人/2.0㎡)	備蓄	津波浸水 (L2)	土砂災害 警戒区域	耐震性	駐車 スペース
1	上街	第四小学校 (体育館)	上町二丁目 1-11	616	308	有	なし	なし	有	有
2	小高坂	城西中学校 (体育館)	大膳町 3-5	795	397	有	なし	なし	有	有
3	旭街	旭小学校 (体育館)	本宮町16	801	400	有	なし	なし	有	有
4	旭街	横内小学校 (体育館)	横内242-13	908	454	有	なし	なし	有	有
5	旭街	高知特別支援学校 (体育館)	本宮町125	687	343	有	なし	なし	有	有
6	初月	初月小学校 (体育館)	南久万128	886	443	有	なし	なし	有	有
7	朝倉	朝倉小学校 (体育館)	朝倉本町二丁目11-20	758	379	有	なし	なし	有	有
8	朝倉	朝倉第二小学校 (体育館)	若草南町23-56	1,046	523	有	なし	なし	有	有
9	鴨田	鴨田小学校 (体育館)	鴨部1155	1,119	559	有	なし	なし	有	有
10	鴨田	神田小学校 (体育館)	神田1174-1	878	438	有	なし	なし	有	有
11	鴨田	西部中学校 (体育館)	鴨部一丁目 9-1	800	400	有	なし	なし	有	有
12	秦	秦小学校 (体育館)	愛宕山19	756	378	有	なし	なし	有	有
13	長浜	横浜新町小学校 (体育館)	横浜新町五丁目2201	904	452	有	なし	なし	有	有
14	介良	介良潮見台小学校 (体育館)	潮見台一丁目2602-1	1,068	533	有	なし	なし	有	有
15	土佐山	旧土佐山中学校 (体育館)	土佐山弘瀬405	763	379	有	なし	なし	有	有
16	春野	春野西小学校 (体育館)	春野町弘岡中2501	618	309	有	なし	なし	有	有
17	春野	春野中学校 (体育館)	春野町西分328	1,034	517	有	なし	なし	有	有
合計				14,437	7,212					

(2) 特別基準

事前避難による日常生活及び企業活動の阻害を可能な限り減らすため、一般基準のほかに特別基準を設け、開設する避難所を追加で選定します。

特別基準によって選定する避難所は、次頁の条件を満たしている施設です。

避難所選定基準【特別基準】

- ・津波浸水想定区域内にあるが、建物の上階であれば津波浸水をしない避難スペースが確保できる施設
- ・避難所の敷地の一部が土砂災害警戒区域内にあるが、実際の避難スペースである建物等が土砂災害警戒区域外にあるなど、最低限安全が確保できる施設
- ・その他、実際の事前避難者数や開設避難所の偏りなど、地域の実情に応じて順次開設施設を追加

特別基準は、浸水想定区域内に居住している方が必ずしも最寄りの避難所に入ることを求めたものではありません。それぞれの通勤や通学などといった日常生活の状況を考慮し、避難所を選択できるようにしたものです。

特別基準を満たしている避難所は、次のとおりです（表 特別基準を満たしている避難所）。

表 特別基準を満たしている避難所

No	大街	名称	所在地	収容面積 (㎡)	収容可能人数 (1人/2.0㎡)	備蓄	津波浸水 (L2)	土砂災害 警戒区域	耐震性	駐車 スペース
1	旭街	旭東小学校（体育館）	北端町51	548	274	有	なし	校舎は該当	有	有
2	長浜	横浜中学校（体育館）	横浜新町一丁目401	855	427	有	なし	校舎は該当	有	有
3	長浜	長浜小学校（校舎・2階以上）	長浜4811	1,716	858	なし	(1-2m)	なし	有	有
4	長浜	南海中学校（校舎・2階以上）	長浜5235	1,800	900	有	(0.3-1m)	なし	有	有
5	高知街	第六小学校（校舎・2階以上）	升形9-4	773	386	なし	(0.3-1m)	なし	有	有
6	北街	はりまや橋小学校（校舎・2階以上）	はりまや町二丁目14-8	1,059	529	有	(1-2m)	なし	有	有
7	下知	昭和小学校（校舎・3階以上）	日の出町7-61	1,165	582	なし	(2-3m)	なし	有	有
8	江ノ口	愛宕中学校（校舎・2階以上）	相模町1-54	1,321	660	なし	(1-2m)	なし	有	有
9	江ノ口	一ツ橋小学校（校舎・2階以上）	吉田町4-10	1,167	583	なし	(1-2m)	なし	有	有
10	江ノ口	城東中学校（校舎・3階以上）	江陽町1-20	387	193	なし	(2-3m)	なし	有	有
11	江ノ口	江陽小学校（校舎・3階以上）	江陽町1-30	208	104	なし	(2-3m)	なし	有	有
12	江ノ口	江ノ口小学校（校舎・3階以上）	新本町一丁目8-12	800	400	なし	(2-3m)	なし	有	有
13	小高坂	小高坂小学校（校舎・2階以上）	新屋敷一丁目11-5	808	404	有	(0.3-1m)	なし	有	有
14	小高坂	城北中学校（校舎・2階以上）	八反町一丁目8-14	1,724	862	有	(0.3-1m)	なし	有	有
15	潮江	潮江中学校（校舎・3階以上）	塩屋崎町一丁目2-20	1,354	677	なし	(2-3m)	なし	有	有
16	布師田	布師田小学校（校舎・2階以上）	布師田1781-1	300	150	なし	(0.3-1m)	なし	有	有
17	一宮	一宮小学校（校舎・2階以上）	一宮西町一丁目9-1	1,553	776	なし	(0.3-1m)	なし	有	有
18	一宮	一宮中学校（校舎・2階以上）	一宮南町一丁目3-1	1,795	897	なし	(1-2m)	なし	有	有
19	大津	大津中学校（校舎・3階以上）	大津乙740-1	646	323	なし	(2-3m)	なし	有	有
20	大津	大津小学校（校舎・2階以上）	大津乙792	1,016	508	なし	(1-2m)	なし	有	有
21	介良	介良中学校（校舎・3階以上）	介良乙2620	583	291	なし	(2-3m)	なし	有	有
22	介良	介良小学校（校舎・2階以上）	介良乙2735-1	1,482	741	なし	(1-2m)	なし	有	有
23	五台山	青柳中学校（校舎・3階以上）	五台山3923	818	409	なし	(2-3m)	なし	有	有
			合計	23,878	11,934					

※1 津波浸水のある施設は、浸水想定を踏まえて施設の上階を避難スペースとする。

※2 津波浸水が3メートルを超えると想定されている施設、津波浸水及び土砂災害の両方に該当する施設については、避難者の安全を確保することが困難であるため、開設避難所候補から除外している。

(3) 巨大地震注意対応時の開設避難所

巨大地震注意対応時は、親類・知人宅等への自主避難が基本になりますが、知人宅等への避難ができない場合を想定して、自主避難者を受け入れる避難所を開設します。この場合の開設避難所は、大雨・台風時に優先的に開設する避難所を候補とします。

巨大地震注意対応時の開設避難所の候補は、次のとおりです（表 巨大地震注意対応時の開設避難所候補）。

表 巨大地震注意対応時の開設避難所候補

No	大街	名称	所在地	収容面積 (㎡)	収容可能人数 (1人/2.0㎡)	備蓄	津波浸水 (L2)	土砂災害 警戒区域	耐震性	駐車 スペース
1	上街	龍馬の生まれたまち記念館	上町二丁目6-33	137	68	有	なし	なし	有	有
2	下知	弥右衛門ふれあいセンター	北御座2-60	659	329	有	(2-3m)	なし	有	有
3	下知	下知コミュニティセンター	二葉町10-7	304	152	有	(3-5m)	なし	有	有
4	江ノ口	江ノ口コミュニティセンター	愛宕町一丁目10-7	258	129	有	(1-2m)	なし	有	有
5	旭街	木村会館	旭町三丁目121	606	301	有	なし	なし	有	有
6	潮江	潮江市民図書館	棧橋通二丁目1-50	636	316	なし	(2-3m)	なし	有	有
7	三里	三里ふれあいセンター	仁井田4229-2	221	110	有	(0.3-1m)	なし	有	有
8	五台山	五台山ふれあいセンター	五台山2945-2	336	167	有	(3-5m)	なし	有	有
9	高須	高須ふれあいセンター	高須新町二丁目5-15	130	65	有	(2-3m)	なし	有	有
10	布師田	布師田ふれあいセンター	布師田1647	139	68	有	なし	該当	有	有
11	一宮	一宮ふれあいセンター	一宮中町一丁目5-20	104	52	有	(0.3-1m)	なし	有	有
12	秦	秦ふれあいセンター	中秦泉寺54-3	210	104	有	なし	なし	有	有
13	初月	初月ふれあいセンター	南久万119-1	94	47	有	なし	なし	有	有
14	朝倉	朝倉ふれあいセンター	曙町一丁目14-12	168	84	有	なし	なし	有	有
15	鴨田	鴨田ふれあいセンター (※西部健康福祉センター)	鴨部860-1	828	414	有	なし	なし	有	有
16	長浜	長浜ふれあいセンター	長浜690-5	150	74	有	(1-2m)	なし	有	有
17	御畳瀬	御畳瀬ふれあいセンター	御畳瀬252	173	86	有	(2-3m)	該当	有	有
18	浦戸	浦戸ふれあいセンター	浦戸274-9	147	73	有	(3-5m)	なし	有	有
19	大津	大津ふれあいセンター	大津乙930-5	165	81	有	(1-2m)	なし	有	有
20	介良	介良ふれあいセンター	介良乙2286	141	70	有	(1-2m)	なし	有	有
21	鏡	中山間地域構造改善センター	鏡小浜8	456	227	有	なし	該当	有	有
22	土佐山	土佐山公民館	土佐山122-1	258	128	有	なし	なし	有	有
23	春野	あじさい会館	春野町西分1-1	357	178	有	なし	なし	有	有
合計				6,677	3,323					

※ 巨大地震注意対応時は、親類・知人宅等への自主避難を基本としているが、知人宅等への避難が困難な場合に、上記施設のうちから、津波浸水がなく、かつ、土砂災害警戒区域に該当しない施設から順次開設予定。

- ⑤ 潮江小学校区津波避難行動支援マップ
(平成 27 年度作成)

(A3 津波避難行動支援マップ 差し込み)

※ 「潮江小学校区津波避難行動支援マップ」については、高知市ホームページで閲覧されている方は同ページの「津波避難行動支援マップ」をご覧ください。

作成・改訂履歴

作成・改訂年月	内容
平成 26 年 3 月	作成
平成 28 年 3 月	データ更新
平成 29 年度	検証を実施
平成 30 年 3 月	データ更新
令和 3 年 3 月	データ更新
令和 4 年 12 月	データ更新
令和 6 年 3 月	データ更新
令和 7 年 3 月	データ更新
令和 8 年 3 月	データ更新

令和8年3月
高知市防災対策部
地域防災推進課